

医師臨床研修プログラム

令和5年度

北海道大学病院

(令和4年3月1日発行)

ご挨拶

北海道大学病院
病院長 秋田弘俊

北海道大学病院長の秋田弘俊です。まず、資格を持った医師としての本格的な第一歩の場としてこの北海道大学病院を検討していただいていることに感謝し、心から御礼申し上げます。また、同時に、研修責任者の一人として、大きな責任を感じております。

医師研修は、確かな実技を習得し、その基盤となる医学の総合力を臨床で実際の患者さんの診察・診療が可能なレベルにまで高めることが第一の目標です。これは、継続的な生涯学習で達成されることですが、最初の数年間で形成される基礎は、その医師の将来に大きく影響するものです。私自身、卒業直後の数年間で診た患者さん、教えを戴いた先生方、医療の本当の姿を教えてくれた医療関係者の皆さんのことを今でも鮮明に覚えており、その後の長い医師としての姿勢や生き方を決定づけました。

有名なローレンツの複雑系の考えでも、初期条件の微細な差が、その後の結果に大きな決定的な差を生み出すことが知られています。医療・医学は典型的な複雑系の科学ですが、皆さんの医師としての研修・成長も典型的な複雑系です。多様な診療科での実技研修、あるいは、医療人・社会人としての人間形成、Mentor、同僚との出会い。こうした初期研修は、皆さん方の将来に決定的な影響を及ぼします。

北大病院の研修プログラムは、毎年、進化しています。それは、社会や他学と表面的に足並みを合わせるのではなく、北大の提供できる優れた環境を最大限に活用し、また、研修される先生方の個々の進路や希望に沿うように tailor-made に限りなく近いものに進化しております。進化のためには、改善が必要です。皆さん方には、遠慮なく、私達に、研修をより良いものするための御意見をお寄せ下さい。また、様々な選択肢の中から、大学病院を選択することの重み、あるいは、その意義を是非、体感して戴きたいと思っております。私達もその期待に応えるように、一般病院とは一味違った研修を提供できると思っております。

本院は、北海道大学という国内有数の教育・研究機関の主要な一員です。本院は、臨床研究中核病院、がんゲノム医療中核拠点病院、小児がん拠点病院、造血幹細胞移植推進拠点病院などに指定されています。そこに求められるものは、丁寧な日常診療に加えて、①高度医療の提供と新治療法の開発、②難病治療などのリーディング・ホスピタルとしての機能など、地域や社会、あるいは、国・世界からの高い期待に応えること、そして、将来の医療を支える“人”を育成する役割です。

是非、皆さん方には、初期研修の段階から、日々の実学研修は当然のことながら、北海道大学の建学の精神である、高い志を持ち、大成への第一歩をこの北海道大学病院での研修からスタートさせて戴きたいと願っております。

北大病院が、皆さん方の医師人生の最良のスタート地点となることを確信しております。

プロフェッショナルを目指すためには何が必要か ～臨床研修から始まる成功への道～

北海道大学病院
臨床研修センター長 平野 聡

これから臨床研修に臨もうとしている皆さんの目指すゴールは何でしょうか。単に臨床研修の修了という小さなものではないはずです。引き続き次のステップである専攻医としての修練があり、専門性を身につけるといよいよプロフェッショナルな医師としての活躍が始まります。臨床研修のスタートにあたり、自らの数年から十数年先の成長した姿を想像しながら臨床研修について考えることが大切です。

では、皆さんの最終ゴールであるプロフェッショナルな医師について考えてみます。多くの学生さんは研修施設の決定に、いわゆる common disease の数を気にします。しかし、この common disease は誰もが生涯、イヤと言うほど経験し、その診断法や治療法がほぼ確立されているもので、数学に例えると X に数字を入れると Y という正解がでる基本問題です。もし、2年間にわたり、この common disease をできるだけ経験すれば良いと考えるなら、それは大変もったいない時間の過ごし方と言えます。なぜなら、実際には教科書に載っている数え切れないほどある疾患を2年間で経験することはできないのは当たり前で、人生で何度も未経験の疾患や病態に遭遇します。そんな時、決して慌てず、適切に対処できるのがプロフェッショナルなのです。皆さんも受験勉強で十分経験していると思いますが、基本問題を何度繰り返しても、いわゆる応用問題で正解を出すトレーニングにはなりません。必要なのは、たとえ初めての経験（問題）でも方向性を間違えず、なんとか正解に近づくためのプロセスを実行できる「考える力」なのです。臨床研修の2年間のうち、一部は common disease で基本問題に取り組む事は必要ですが、残りの期間を「考える力」を養うことに集中するのが真のプロフェッショナルへの確実なプロセスです。時期としても広い視野をもち、様々な診療領域の経験を積むことができる臨床研修期間こそが、「考える力」を身につけるための最適な時間になります。

皆さんが研修施設選びでどうしても気になる要素のもう一つは「技術の習得」でしょう。やはりこれも経験回数が多いほど習得度が高いと考えがちです。確かに一定回数以上の経験は必要ではありますが、単に回数をこなすだけでは「難しい」例に遭遇したときにはお手上げ状態になります。そこで必要なのは、やはり「応用力」であり、どのようにしたら上手くいくのかを「考える力」が必要なことは、上述の疾患数の理論と全く同じですので容易に理解できると思います。

北海道大学病院が提供する初期臨床研修プログラムでは、協力病院との“たすきがけ”を利用して「基礎」と「応用」をバランス良く研修することができます。また、将来、海外での活躍を目指す研修医のための特別コースなど、多くの選択肢を用意しています。皆さんが将来の自分の理想の姿を想像した時、「考える力」＝「応用力」を養うことができる当院プログラムはまさに絶好の場所と言えます。是非、私たちと共に「プロフェッショナル」を目指して有意義な2年間で過ごしましょう。

目 次

・ご挨拶	北海道大学病院長 秋田 弘 俊
・プロフェッショナルを目指すためには何が必要か～臨床研修から始まる成功への道～	北海道大学病院臨床研修センター長 平野 聡
北海道大学病院の概要	1
北海道大学病院医師臨床研修プログラムの概要	3
各科の概要・指導者	8
募集定員ならびに募集及び採用の方法	43
研修協力病院	45
臨床研修施設	46
修了要件・到達目標	50
北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規	58
北海道大学病院医師臨床研修専門委員会要項	61
北海道大学病院臨床研修センター内規	63
臨床研修センター配置図	66

北海道大学病院の概要

平成 15 年 10 月 1 日、医学部附属病院と歯学部附属病院が統合され、医療法上「北海道大学病院」となりました。

「北海道大学病院」は、北海道大学医学部・歯学部附属の教育・研究施設として、医科・歯科の高度・良質な統合的医療に基づく全人的医療の提供ならびに全人教育を実践する道内唯一の医療施設として、以下の基本理念に基づき、その目標を実現するため、環境の整備と体制の確立に努めます。

1. 北海道大学病院の理念と目標

① 理念

北海道大学病院は、良質な医療を提供すると共に、優れた医療人を育成し、先進的な医療の開発と提供を通じて社会に貢献します。

② 目標

- ・患者本位で安心・安全な医療の提供
- ・人間性豊かで有能な医療人の育成
- ・先進的な医療の開発と提供
- ・地域医療への貢献

2. 病床数及び診療状況（令和 2 年度実績）

診療科	病床数	診療状況（令和 2 年度実績）	
		外来患者数	入院患者数
内科 I	48 床	20,392 名	18,195 名
内科 II	49	49,604	13,238
消化器内科	48	40,062	15,577
循環器内科	35	15,246	10,448
血液内科	40	13,355	14,364
腫瘍内科	21	5,930	6,555
消化器外科 I	47	9,805	14,098
消化器外科 II	29	5,515	10,282
循環器・呼吸器外科	32	5,753	8,174
整形外科	59	26,848	18,687
泌尿器科	33	21,006	10,492

診療科	病床数	診療状況（令和2年度実績）	
		外来患者数	入院患者数
麻酔科	2	21,734	0
形成外科	25	7,358	6,346
乳腺外科	6	6,508	1,158
救急科	12	3,099	5,330
脳神経内科	25	12,406	6,886
眼科	35	35,796	11,458
耳鼻咽喉科	38	15,627	11,421
皮膚科	23	14,879	6,487
精神科神経科	70	35,247	16,338
脳神経外科	39	9,109	11,937
リハビリテーション科	20	54,887	1,006
産科	42	8,094	13,348
婦人科	32	20,240	8,633
小児科	33	17,479	9,332
放射線治療科	18	20,740	5,533
放射線診断科	1	53,667	161
核医学診療科	9	5,070	1,693
集中治療室（ICU）	8	0	(2,039)
高度治療室（HCU）	5	0	(1,534)
新生児集中治療室（NICU）	9	0	(3,000)
新生児治療回復室（GCU）	(11)	0	(1,844)
母体胎児集中治療室（MFICU）	(3)	0	(1,050)
高度無菌室	6	0	(1,231)
合計	899	555,456	257,177

- 1) 病床数（ ）内は産科病床数の内数
- 2) 入院患者数（ ）内は各診療科入院患者数の内数
- 3) 内科Ⅰ：令和3年10月からの標榜科名は「呼吸器内科」
- 4) 内科Ⅱ：令和3年10月からの標榜科名は「リウマチ・腎臓内科」及び「糖尿病・内分泌内科」
- 5) 脳神経内科：令和2年3月までの標榜科名は「神経内科」

北海道大学病院医師臨床研修プログラムの概要

1. プログラムの名称

- (1) 北海道大学病院臨床研修標準プログラム
- (2) 北海道大学病院臨床研修実践産婦人科プログラム
- (3) 北海道大学病院臨床研修実践小児科プログラム

2. プログラムの目的と特徴

北海道大学病院と地域の臨床研修病院、診療所が病院群を構成して研修医を受け入れることにより、幅広い分野に対応できる知識・技能といった基本的な診療能力だけではなく、医師としての姿勢・態度を涵養し、社会のニーズに応える真のプロフェッショナルな臨床医を育てるプログラムである。

3. 募集定員：36名（標準32名・産婦人科2名・小児科2名）

※募集定員30名（標準26名・産婦人科2名・小児科2名）へ変更予定

4. 研修プログラム

1) 研修目標

初期の研修において、全ての研修医が適切な指導体制の下で、効果的に幅広く医師としての必要な診療能力を身につけ、人格を涵養する。

2) 標準プログラム

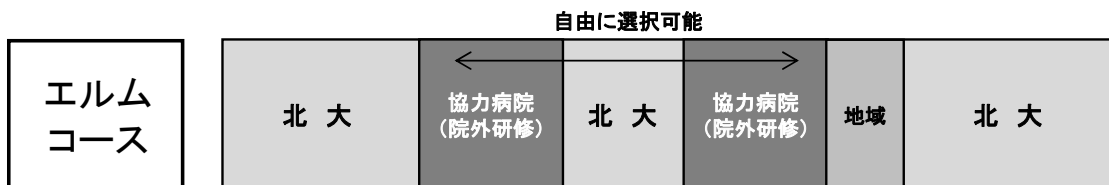
目標を達成するため北海道大学病院では2種類の研修コースを用意した。1年目・2年目ともに大学病院において研修を行う方式（エルムコース）と、学外の協力病院において1年目研修を行い、大学病院において2年目研修を行う方式（たすきコース）である。

・エルムコース（国際的医療人育成プログラムはエルムコースを選択）

1年目（大学病院または協力病院）：必修分野

2年目（大学病院または協力病院）：地域医療4週以上（一般外来を含む）

※2年間で内科24週以上、外科4週以上、小児科4週以上、産婦人科4週以上、精神科4週以上、救急12週以上を研修する。



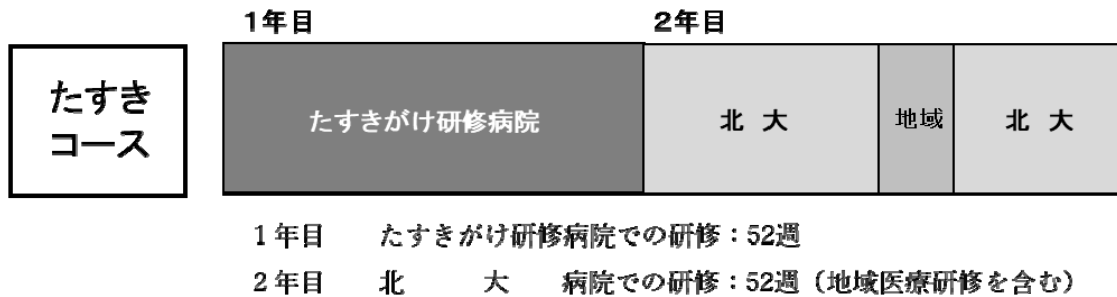
2年間で
北大病院での研修：52週以上（地域医療研修を含む）
協力病院での研修：52週以内（協力病院の受入れ状況による）

・たすきコース

1年目（臨床研修病院）：必修分野

2年目（大学病院）：地域医療4週以上（一般外来を含む）

※2年間で内科24週以上、外科4週以上、小児科4週以上、産婦人科4週以上、精神科4週以上、救急12週以上を研修する。



3) 実践産婦小児プログラム（実践産婦人科プログラム、実践小児科プログラム）

1年目（大学病院または協力病院）：産婦人科または小児科選択8週、内科24週、救急12週（麻酔科4週まで可）、外科4週、自由選択4週

2年目（大学病院または協力病院）：産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、地域医療8週（一般外来研修を含む）、産婦人科または小児科12週、自由選択20週

※実践産婦人科プログラムにおいては、産婦人科24週を選択必修する（産婦人科重点）。

※実践小児科プログラムにおいては、小児科24週を選択必修する（小児科重点）。

4) 国際的医療人育成プログラム

わが国の長期戦略において、「国際化」は重要な位置づけにあります。医療の現場も例外ではなく、医療技術の輸出や海外への人材派遣など「アウトバウンド事業」や、海外からの患者や医療研修者の受け入れなど「インバウンド事業」が着手されていますが、これらを推進する人材の確保が欠かせません。

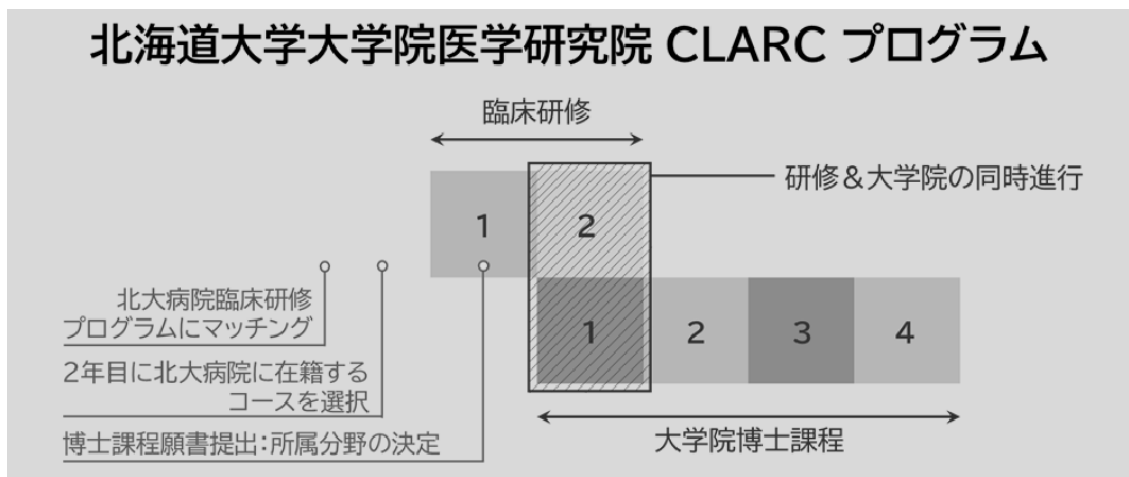
国際化に適応し能力を発揮できる医療人の育成は、当院が果たすべき重要なミッションの1つと捉え、2018年度より本プログラムを設置しました。次代を担う Physician Scientist（研究医）の養成を目指し、早期から国際的な環境の中で経験値を高める機会を提供していきます。



6) CLARC プログラム

CLARC (CLinic And Research Combination) プログラムは臨床研修2年目に大学院に入学し、臨床研修と大学院での学修を並行して行えるプログラムです。

あくまでも臨床研修を主体とし、平日の17時以降に大学院の講義・研究指導を受けます。



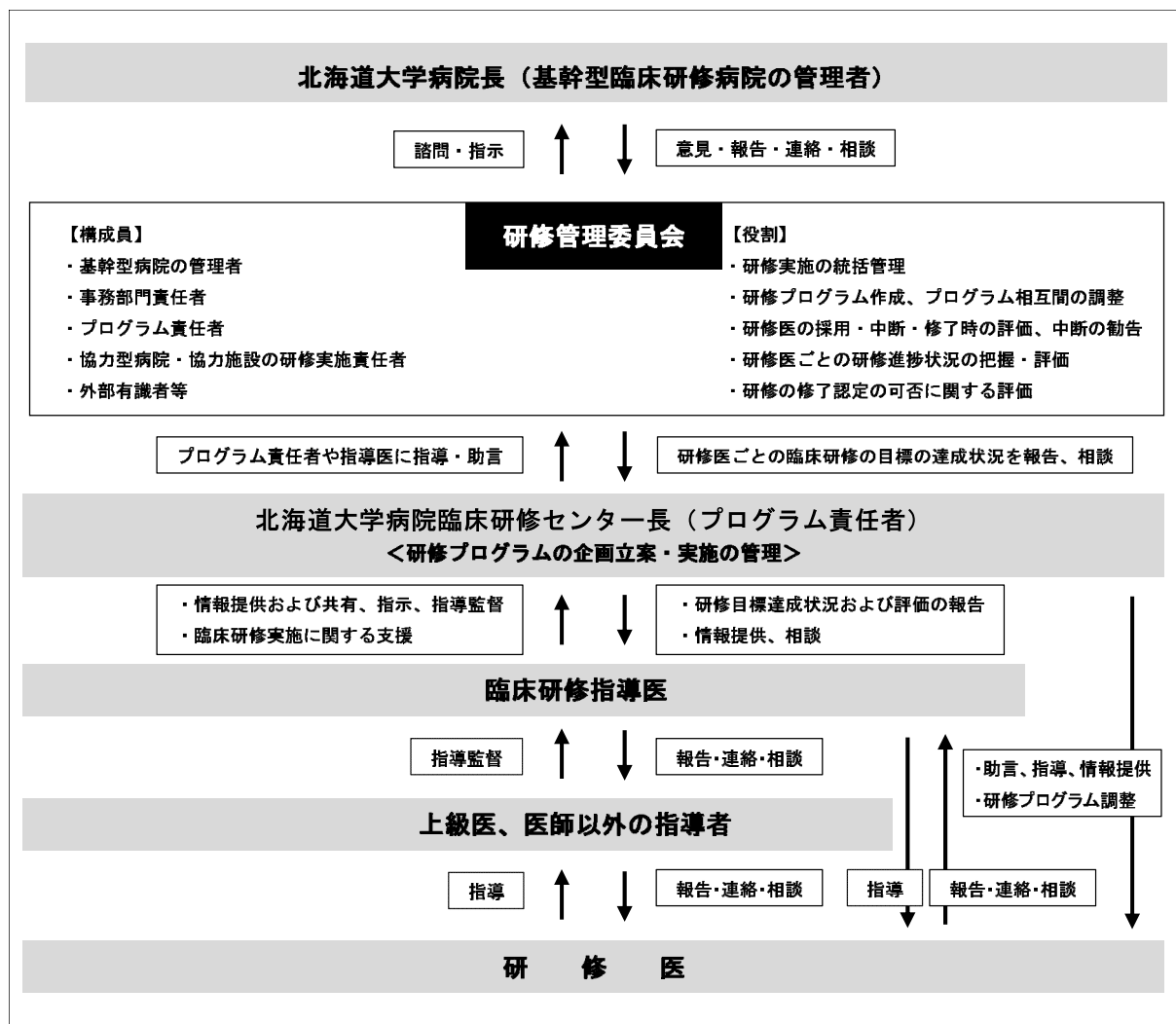
7) 研修スケジュールの例 (標準プログラム)

1年目【必修】												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4W	24W						4W	4W	4W	8W		
外科	内科						小児	精神科 神経科	産婦 人科	救急		
2年目												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4W	8W		36W									
救急 (必修)	地域 (必修)		自由選択									

5. 研修医指導体制

- ① 研修実施責任者 平 野 聡 (医師臨床研修部門長)
- ② プログラム管理
 - プログラム責任者 平 野 聡 (医師臨床研修部門長)
 - 副プログラム責任者 加 藤 達 哉 (医師臨床研修副部門長)
 - 小野澤 真 弘 (臨床研修センター講師)

指導体制の概要



6. 研修医の処遇

1) 北海道大学病院

身分：契約職員、臨床研修医として採用

手当：給与 9,075円/日

臨床研修医手当 5,000円/日

通勤手当あり

寒冷地手当（支給要件を満たす場合）

超過勤務手当あり

夜間業務手当あり（深夜において行われる救急医療又は医療技術の業務に従事した場合に支給、その勤務1回につき20,000円）

賞与なし

勤務時間：月曜日～金曜日、8：30～17：00

時間外労働：あり（月10時間程度）

宿日直：救急研修として、救急科及び集中治療部ローテーション中に月4～5回程度。

有給休暇：10日間／年

リフレッシュ休暇：3日間／年

年末年始休暇：あり

特別休暇：あり（忌引き等）

公的医療保険：社会保険

公的年金：厚生年金

労働保険：労働者災害補償（労災）適用あり

雇用保険あり

病院内の臨床研修医控室：個別デスクあり。LAN配線。Wi-Fi完備。

医師賠償責任保険：個別加入

保育施設：北大構内にあり。病後児保育室もあり。

宿 舎：あり（借上宿舎（単身用、男女入居可）定員10名、女性用宿舎（単身用）定員15名）

そ の 他：アルバイト診療禁止（医師法第16条の3）。自動車通勤禁止。

2) 協力型臨床研修病院：各病院の処遇による。

呼吸器内科

1. 指導医

指導責任者： 今野 哲

指導医： 辻野一三、榊原 純、品川尚文、菊地英毅、菊地順子、
朝比奈肇、鈴木 雅、清水薫子、佐藤隆博、木村孔一、
高島雄太、中久保祥

2. 研修内容

呼吸器 (非腫瘍・ 肺循環)	非腫瘍・肺循環系の呼吸器疾患（閉塞性肺疾患、びまん性肺疾患、アレルギー性肺疾患、呼吸器感染症、肺高血圧症など）の考え方、鑑別、治療方法を学ぶ。問診、診察、胸部写真・呼吸機能検査・心電図の読み方から、気管支鏡検査、心エコー、右心カテーテル検査、抗生剤やステロイドの使い方、呼吸循環管理まで、内科医としての基本的な考え方を学んでもらう。
呼吸器腫瘍	肺癌のみならず、胸部の結節性陰影・腫瘤性陰影、胸膜病変、胸水の考え方、鑑別、診断アプローチ方法を学ぶ。気管支鏡、化学療法、分子標的治療の適応と実際の使用方法を学ぶ。また、癌患者の全身管理を通じて内科医としての基本的な考え方を学び、癌患者への接し方、告知の方法も学んでもらう。

	月	火	水	木	金
午前		8:30- 肺循環カンファ 10:00- 気管支鏡	総回診 11:30- 医局会		10:00- 気管支鏡
午後	16:00- 非腫瘍・ 肺癌 G カンファ 17:30- 病理カン ファ	14:00- 透視下気 管支鏡、心カテ 17:00- 放射線治 療カンファ 17:30- 外科カン ファ	14:00- 透視下気 管支鏡		15:00- トレッド ミル 16:00- 非腫瘍カ ンファ

リウマチ・腎臓内科

1. 指導医

指導責任者： 渥美達也

指導医： 西尾妙織（腎臓）、加藤 将（膠原病）、中沢大悟（腎臓）、
藤枝雄一郎（膠原病）、河野通仁（膠原病）、久田 諒（膠原病）

2. 研修内容

膠原病	自己免疫疾患の診断と治療・発熱性疾患の鑑別・腰椎穿刺・骨髄穿刺・中心静脈確保・胸腹水穿刺
腎臓	腎疾患の診断と治療・電解質の管理・透析・中心静脈確保・胸腹水穿刺

	月	火	水	木	金
午前	総回診（糖尿病・内分泌内科と合同）	回診・病棟	回診・病棟	回診・病棟	回診・病棟
午後	カンファレンス（不定期で関節エコーカンファレンス）	医局会（レジデントレポート、研究発表）	病棟	病棟	病棟
備考	カンファレンスの内容・曜日などは変更となることがあります。随時外来見学があります。				

糖尿病・内分泌内科

1. 指導医

指導責任者： 渥美達也

指導医： 中村昭伸（糖尿病・内分泌）、曹 圭龍（糖尿病・内分泌）、亀田 啓
（糖尿病・内分泌）、野本博司（糖尿病・内分泌）、宮 愛香（糖尿病・
内分泌）

2. 研修内容

糖尿病の専門的管理と患者教育・他科入院中患者の血糖コントロール、内分泌疾患の鑑別と負荷試験を含む診断と治療

	月	火	水	木	金
午前	8:30- モーニング カンファレンス、内 分泌検査、病棟業務 11:00- 総回診	8:30- モーニング カンファレンス、内 分泌検査、病棟業務	8:30- モーニング カンファレンス、内 分泌検査、病棟業務	8:30- モーニング カンファレンス、内 分泌検査、病棟業務	8:30- モーニング カンファレンス、内 分泌検査、病棟業務
午後	病棟業務 他科血糖管理 サマリー作成	病棟業務 他科血糖管理 サマリー作成	病棟業務 他科血糖管理 16:00～カンファレ ンス	病棟業務 他科血糖管理 サマリー作成	病棟業務 他科血糖管理 サマリー作成
備考	カンファレンスの内容・曜日などは変更となることがあります。随時外来見学があります。				

消化器内科

1. 指導医

指導責任者： 坂本直哉

指導医： 小松嘉人、小野尚子、小川浩司、須田剛生、荘 拓也、中井正人、山本桂子、大野正芳、栗谷将城、川久保和道、結城敏志、桂田武彦、川本泰之、原田一顕

2. 研修内容

肝臓	<ul style="list-style-type: none"> ●肝炎ウイルス治療に対する抗ウイルス薬・インターフェロンをはじめとする治療を理解し、習得する。 ●肝癌に対する各種治療を理解し、習得する。 ●食道静脈瘤治療に対する治療を理解し、習得する。 [グループ研修] 月：19時～外科・放射線科合同カンファレンス、木：16時～グループカンファレンス、グループ回診
化学療法	<ul style="list-style-type: none"> ●消化器癌に対する標準的化学療法、支持療法を理解し、習得する。 ●腫瘍関連の諸症状(癌性疼痛など)に対する集学的治療の実践。 ●新薬開発に触れることで薬剤開発の流れや仕組みを理解する。 [グループ研修] 月：18時～グループカンファレンス 水：18時30分～外科合同カンファレンス(胆膵) 木：9時～放射線科合同カンファレンス(メール会議) 隔週17時～外科合同カンファレンス(消化管) 18時～グループカンファレンス 月～金：8時30分/17時00分ごろグループ回診(不定期/午後) CVポート造設術
内視鏡	<ul style="list-style-type: none"> ●模型を使い、消化管内視鏡手技と撮像法の基本を理解し、習得する。 ●上記をマスターできたら、実際に患者(意識下鎮静患者)に対して上部消化管内視鏡検査を実践する。 ●内視鏡所見の記載法を習得する。 ●消化管疾患の内視鏡診断、治療の基本、合併症を理解する。 ●消化管疾患の内視鏡治療における入院管理を理解する。 [グループ研修] 月：8時15分～内視鏡画像カンファレンス 木：8時30分～内視鏡画像カンファレンス、抄読会、18時～グループカンファレンス 月～金：17時00分ごろグループ回診
胆膵	<ul style="list-style-type: none"> ●胆膵内視鏡検査・処置を実際に見て、処置の介助をすることで理解を深める。 ●膵胆道疾患において、US、CT、EUSを中心とした画像診断の基本を身につける。 ●膵胆道癌に対する標準的化学療法、支持療法を理解し、習得する。 [グループ研修] 月曜夕方：グループカンファレンス 月～金午前(不定期)：超音波内視鏡検査 火・木午後：ERCPおよびEUS関連手技 水：19時～外科内科放射線科合同カンファレンス 月～金：9時00分/17時00分ごろグループ回診
炎症性腸疾患	<ul style="list-style-type: none"> ●潰瘍性大腸炎、クローン病を中心に原因不明の難治性腸疾患の基本的な診断方法、治療方法を身につける。 ●画像診断としてエックス線、CT、エコー、バリウム造影、上下部消化管内視鏡検査の読影、補助を行う。 ●疾患のみを診るのではなく、各患者の背景を含めた全人的な医療を実践することで、医師として必要な人間性、人格を養う。

	月	火	水	木	金
午前	出勤：8時30分	出勤：7時30分 7時30分：チャートカンファレンス 9時30分：教授回診	出勤：8時30分	出勤：8時30分	出勤：8時30分
午後	内視鏡治療	18時00分：医局会		内視鏡治療 ラジオ波(RFA)	
備考	各グループによるスケジュールは上記研修内容を参照				

循環器内科

1. 指導医

指導責任者： 安斉俊久

指導医： 永井利幸、石森直樹、渡邊昌也、神谷 究、天満太郎

小西崇夫、鎌田 壘、辻永真吾、萩原 光

2. 研修内容

通常	指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察・検査を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 循環器疾患の病態・検査・治療に関する基礎知識の習得を行う。 胸部レントゲンならびに心電図の読影を行う。 心エコー検査を自ら施行し、エコー所見の読影を行う。 心臓カテーテル検査（右心カテーテル検査、冠動脈造影検査）を自ら施行し、検査所見を理解する。
心エコー	心エコー検査を自ら施行し、エコー所見の読影を行う。 経食道心エコーなど特殊検査の所見の読影を行う。 原則、循環器内科 通常グループを1か月以上ローテーションする研修医に限る。

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診	症例検討会	病棟回診	病棟回診	心臓電気生理検査 カテーテルアブレーション治療
午後	TAVI、MitraClip (手術室) 不整脈カンファレンス	重症心不全カンファレンス VADカンファレンス 虚血性心疾患カンファレンス	心臓カテーテル検査	心臓カテーテル検査	心エコーカンファレンス
備考	その他：病理カンファレンス、外科症例カンファレンスへの参加。				

血液内科

1. 指導医

指導責任者： 豊嶋崇徳

指導医： 橋本大吾、遠藤知之、加畑 馨、中川雅夫、小野澤真弘、後藤秀樹、
白鳥聡一、安本篤史、松川敏大、荒 隆英、大東寛幸、長谷川祐太

2. 研修内容

上級医のもと主治医として、化学療法・造血幹細胞移植を中心とした血液疾患への治療を行います。食事摂取不良・全身状態不良に対する全身管理が行えます。骨髄穿刺・生検、髄液検査、抗がん剤の髄腔内投与、中心静脈カテーテル挿入などの手技を可能な限り行っていただきます。その他、細胞採取、各種感染症への対応方法、抗生剤やステロイドの使い方、HIV/AIDSの管理・治療、臨床研究、各種血液検査所見の解釈についても学べます。

	月	火	水	木	金
午前	8:30- 病棟回診、病棟診療、各種検査	8:30- 病棟回診、病棟診療、各種検査	8:30- 病棟回診、病棟診療、各種検査	8:30- 病棟回診、病棟診療、各種検査	8:30- 病棟回診、病棟診療、各種検査
午後	病棟診療、各種検査 16:00- 臨床カンファレンス 病棟 Gr カンファレンス	病棟診療、各種検査	病棟診療、各種検査 18:00- リサーチカンファレンス	病棟診療、各種検査 13:30- 教授回診 (不定期)	病棟診療、各種検査

腫瘍内科

1. 指導医

指導責任者： 秋田弘俊

指導医： 木下一郎、清水 康、竹内 啓、田口 純、野口卓郎、大原克仁

2. 研修内容

肺癌、頭頸部癌、消化器癌、神経内分泌腫瘍、乳癌、甲状腺癌、原発不明癌、軟部肉腫、その他希少癌を診療します。画像診断だけでなく、分子病理診断、ゲノム診断の理解と実践も必要です。手技としては中心静脈ポート留置、胸腹水の排液と管理があります。臓器横断的に全身の幅広い領域の悪性固形腫瘍の診断、治療（薬物療法や化学放射線療法など）を通して、内科学および腫瘍学における基本的な臨床能力を身に着けます。

	月	火	水	木	金
午前	病棟診療	病棟診療	8時30分- 腫瘍内科カンファ 病棟診療 放射線治療カンファ	病棟診療	病棟診療
午後	病棟診療	頭頸部癌カンファ 病棟診療	病棟診療 総回診 がん遺伝子診断部カンファ	病棟診療 消化器癌カンファ (隔週)	病棟診療
備考	担当症例によって火曜日午後に緩和ケアカンファ、肺癌カンファあり。 月1回神経内分泌腫瘍カンファあり。				

消化器外科 I

1. 指導医

指導責任者： 武富紹信

指導医： 嶋村 剛、本間重紀、本多昌平、柿坂達彦、折茂達也、後藤了一、
渡辺正明、吉田 雅、川村典生、市川伸樹、長津明久

2. 研修内容

術前診断、術前術後検討会でのプレゼン、手術参加、縫合結紮実習、内視鏡縫合結紮実習、術後全身管理をおこないます。患者さんの病態はもちろんのこと、大学病院ならではの基礎疾患をたくさんもったハイリスク患者の術式決定、周術期管理を先輩医師に寄り添って、学びます。また、小児鼠径ヘルニアの手術や、一時的、永久の人工肛門造設術、人工肛門閉鎖術を実際の術者として経験してもらいます。内視鏡手術のトレーナーを用いたスキルアップや、習熟度に応じて、腹腔鏡下大腸切除術を術者として経験してもらいます。

	月	火	水	木	金
午前	術前カンファレンス、回診、外来	回診、手術	術前カンファレンス、回診、手術	M&Mカンファレンス、回診、手術	抄読会、回診、手術
午後	教授回診、検査、腹腔鏡下縫合結紮実習	手術、回診	手術、検査、回診	手術、回診	手術、検査、回診
備考					

消化器外科Ⅱ

1. 指導医

指導責任者： 平野 聡

指導医： 七戸俊明、倉島 庸、土川貴裕、中村 透、村上壮一、海老原裕磨、野路武寛、浅野賢道、中西喜嗣、田中公貴、松井あや

2. 研修内容

消化器疾患に対する高難度手術や鏡視下手術の理論と実践のすべてを学んでいただきます。特に消化器癌や救急医療では画像診断および手術適応について最新の知見を学ぶことができ、手術では、実際に手術メンバーとして参加し、皮切、縫合を行っていただきます。さらに、周術期管理の実践を通して、知識や検査の実際のみならず、中心静脈カテーテル挿入などの様々な手技を習得していただきます。

	月	火	水	木	金
午前	入院患者カンファランス、教授回診	回診、検査、外来見学	手術症例カンファランス、回診、手術	回診、検査、外来見学	術前カンファランス、回診、手術
午後	検査、リサーチカンファランス	検査、病棟管理、結紮・縫合訓練(含、腹腔鏡下)	手術、カンサーボード	検査、病棟管理、結紮・縫合訓練(含、腹腔鏡下)	手術
備考					

心臓血管外科

1. 指導医

指導責任者： 若狭 哲

指導医： 若狭 哲、大岡智学、新宮康栄、加藤伸康、阿部慎司

2. 研修内容

プライマリーケアに必要な外科知識や病態、基本的な手技を循環器外科疾患を通して習得する。

	月	火	水	木	金
午前	朝回診・手術	朝回診・手術	朝回診・手術	朝回診・手術	朝回診・手術
午後	手術・夕回診	手術・夕回診	手術・夕回診	手術・夕回診・ 症例カンファレンス	手術・夕回診
備考					

呼吸器外科

1. 指導医

指導責任者： 加藤達哉

指導医： 加藤達哉、加賀基知三、藤原 晶、氏家秀樹

2. 研修内容

他の外科系診療科や内科、マイナー系志望の研修医に胸部画像診断、採血や縫合、ドレーン留置・管理、全身管理、手術適応の判断の実際などを学んでもらう。

	月	火	水	木	金
午前	8:30 初日はオリエンテーション 8:30 入院患者カンファランス 9:00 朝回診 9:30 病棟管理 外来見学	8:30 入院患者カンファランス 9:00 朝回診 9:30 病棟管理 外来見学 AM 症例発表準備	8:30 入院患者カンファランス 9:00 朝回診 AM 手術	8:30 入院患者カンファランス 9:00 朝回診 9:30 病棟管理 外来見学	8:30 入院患者カンファランス 9:00 朝回診 AM 手術
午後	13:30 呼吸器病理切り出し PM 症例発表準備 16:00 夕回診	PM 症例発表準備 16:00 夕回診 17:30 呼吸器キヤンサーボード、呼吸器外科カンファランス	PM 手術 16:00 夕回診	PM 結紮・縫合訓練（含、胸腔鏡下） 16:00 夕回診	PM 手術 16:00 夕回診 週末申し送り
備考					

整形外科

1. 指導医

指導責任者： 岩崎倫政

指導医： 近藤英司、小野寺智洋、高橋大介、須藤英毅、高畑雅彦、清水智弘、門間太輔

2. 研修内容

<p>上肢・スポーツ</p>	<p>指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 神経学的所見、筋・腱・関節所見に関する基礎知識の習得を行う。 Xp、CT、MRIなどの画像の読影トレーニングを行う。 神経伝導速度検査の読影とトレーニングを行う。 手術手技を理解し、基礎的な縫合などを習得する。 外来等で実際のスポーツ選手の診察をおこなう。試合に帯同し診察する。</p>
<p>脊椎</p>	<p>指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 とくに神経症候学に関する基礎知識の習得を行う。 Xp、CT、MRIなどの画像の読影トレーニングを行う。 各病態（変性疾患・腫瘍・外傷・脊髄損傷・靭帯骨化症など）に関するミニレクチャーが充実しており、スモールディスカッションを通じて理解を深める。 手術手技を理解し、基礎的な縫合などを習得する。 担当症例に関しては助手として手術に入る。</p>
<p>下肢・腫瘍</p>	<p>指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 主に関節所見に関する基礎知識の習得を行う。 四肢の軟部腫瘍（良性悪性）に関する基礎知識を習得する。 Xp、CT、MRIなどの画像の読影トレーニングを行う。 手術手技を理解し、基礎的な縫合・関節鏡操作などを習得する。</p>
<p>股関節</p>	<p>指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 主に関節所見に関する基礎知識の習得を行う。 Xp、CT、MRIなどの画像の読影トレーニングを行う。 手術手技を理解し、基礎的な縫合などを習得する。</p>

	月	火	水	木	金
午前	8:00 術後検討会 8:30 各グループ回診 9:00 ミニレクチャー 10:00 診察	7:30 脊椎カンファ 7:30 上肢カンファ 9:00 手術	8:00 各グループ回診 9:00 ミニレクチャー 10:00 診察	8:00 研究検討会 9:00 手術	8:00 各グループ回診 9:00 ミニレクチャー
午後	14:00 総回診 14:45 術前検討会 16:00 股関節カンファ	手術	診断・検査 17:00 下肢カンファ	手術	診断・検査
備考	研修期間及び希望によって研修する班を決めています。担当患者を受け持ち、術前診断、術前術後検討会でのプレゼン、手術参加、縫合結紮実習、内視鏡実習をおこないます。 上肢・スポーツ・脊椎・下肢・腫瘍・股関節と幅広い疾患に対して、診断・治療体系の基礎を学びます。指導する医師数や手術件数も多いため、たくさんの研修医の受け入れが可能です。				

泌尿器科

1. 指導医

指導責任者： 篠原信雄

指導医： 安部崇重、橘田岳也、堀田記世彦、大澤崇宏、田邊 起、松本隆児、
千葉博基、今 雅史、菊池央、樋口まどか

2. 研修内容

病棟、外来、手術と泌尿器科全般にわたり、指導医（専門医）の直接指導のもとで研修を積むことができる。

	月	火	水	木	金
午前	手術	回診 外来研修	手術	回診 外来研修	症例検討会 回診 外来研修
午後	手術	病棟業務	手術	病棟業務：回診 ミニレクチャー	外来患者検討会

麻 酔 科

1. 指 導 医

指導責任者： 森本裕二

指導医： 森本裕二、瀧田恒一、敦賀健吉（緩和）、斉藤仁志（ICU）、内田洋介、藤田憲明、干野晃嗣、西川直樹（ICU）、相川勝洋、藤井知昭、水野谷和之（ICU）、山本真崇、糸洲佑介、三浦基嗣（緩和）、久保康則

2. 研修内容

1年目の1か月研修は手術麻酔を経験し、周術期管理を広く学ぶことを主眼としています。その他、手技として気道確保、末梢静脈路や観血的動脈圧ライン確保の習得を目指します。2年目の研修では手術麻酔だけでなく、「緩和・ペイン」「集中治療」それぞれ単独での研修も可能です。希望にあわせて対応いたしますのでお気軽にご相談ください。

	月	火	水	木	金
午前	8:15- 勉強会 8:30- カンファ 8:45- 手術麻酔	8:30- カンファ 8:45- 手術麻酔	8:30- カンファ 8:45- 手術麻酔	8:30- カンファ 8:45- 手術麻酔	8:30- カンファ 8:45- 手術麻酔
午後	手術麻酔 術前回診 術後回診	手術麻酔 術前回診 術後回診	手術麻酔 術前回診 術後回診	手術麻酔 術前回診 術後回診	手術麻酔 術前回診 術後回診
備考	「緩和・ペイン」は月水金 AM ペインクリニック、その他の時間帯は緩和研修、「集中治療」は基本的に日勤、いずれも希望にあわせて調整します（要相談）				

麻酔科（集中治療部）

1. 指導医

指導責任者： 森本裕二

指導医： 森本裕二、瀧田恒一、敦賀健吉（緩和）、斉藤仁志（ICU）、内田洋介、森 敏洋、長谷徹太郎、藤田憲明、干野晃嗣、西川直樹、相川勝洋、水野谷和之、三浦基嗣（緩和）、藤井知昭、久保康則、前田洋典

2. 研修内容

1年目の1か月研修は手術麻酔を経験し、周術期管理を広く学ぶことを主眼としています。その他、手技として気道確保、末梢静脈路や観血的動脈圧ライン確保の習得を目指します。2年目の研修では手術麻酔だけでなく、「緩和・ペイン」「集中治療」それぞれ単独での研修も可能です。希望にあわせて対応いたしますのでお気軽にご相談ください。

	月	火	水	木	金
午前	部署内カンファ 合同カンファ	部署内カンファ 合同カンファ	部署内カンファ 合同カンファ	部署内カンファ 合同カンファ	部署内カンファ 合同カンファ
午後	患者の治療 カルテ記載等	患者の治療 カルテ記載等	患者の治療 カルテ記載等	患者の治療 カルテ記載等	患者の治療 カルテ記載等
備考	ピンポイントで教員の講義、症例検討、慣れてきたら夜勤配置、患者の直接患者割付も考慮				

形成外科

1. 指導医

指導責任者： 山本有平

指導医： 舟山恵美、前田 拓、石川耕資、三浦隆洋

2. 研修内容

手術や外来、カンファランスでのプレゼンテーションを通じて、皮膚・軟部組織腫瘍、他科再建、頭蓋顔面・手足の先天異常および外傷など、多岐にわたる形成外科の診療領域全般にわたって広く知識を学ぶとともに、皮膚縫合などの基本手技を実践することが出来る。

	月	火	水	木	金
午前	手術	カンファランス 外来	外来	カンファランス 手術 外来	手術
午後	手術	総回診 カンファランス	手術	特殊外来	手術

乳腺外科

1. 指導医

指導責任者： 高橋將人

指導医： 押野智博

2. 研修内容

乳癌診療に対する教育。入院・外来患者の診察、手術の助手、簡単な手術の術者
カンファレンスの準備・参加、学会への参加

	月	火	水	木	金
午前	回診 初診外来	初診外来、回診 手術	術後カンファ、 回診 初診外来	回診、手術	術前カンファ、 回診 病棟管理
午後	病棟管理、回診 画像カンファ (月 1 回)	手術、回診 放射線治療カン ファ	病棟管理、検 査、回診 病理カンファ	手術、回診	病棟管理、回診

救急科

1. 指導医

指導責任者： 吉田知由

指導医： 早川峰司、前川邦彦、方波見謙一、和田剛志、吉田知由、斉藤智誉、
本間慶憲

2. 研修内容

救急搬入症例の初期診療、および集中治療を含む入院診療が主体の研修です。
担当医として患者を割り当て、上級医と相談しながら主体的に治療に携わります。
重症患者を中心に幅広く全身を診る力を習得できます。
Dr. car 出動で病院前診療にも携わります。
勤務体制：基本的に我々救急医と同じ働き方をして頂きます。朝 9:00-夕 17:00 までの日勤を月 3 回程度と朝 9:00-翌朝 10:30 までの勤務を月に 6 回程度行って頂きます。それ以外の日は休みとなります。

	月	火	水	木	金
午前	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理
午後	週間カンファレンス、抄読会、初療、病棟管理 12:30 から全体カンファ	初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理

脳神経内科

1. 指導医

指導責任者： 矢部一郎

指導医： 矢部一郎、矢口裕章、松島理明、岩田育子、白井慎一、上床 尚
(指導医は全員、神経内科専門医かつ総合内科専門医)

2. 研修内容

神経診察手技の習得とそこから得られた結果の意義を理解し、自ら診断・治療計画を立てることができるような屋根瓦式研修をおこないます。
基本的な神経疾患診療から最新の治療まで幅広く経験することが可能です。
研修医セミナー、症例検討会、筋病理カンファレンスが適宜開催されており、研修医が上級医から学ぶ機会を十分に提供する環境が整備されています。

	月	火	水	木	金
午前	回診 病棟	8:00-9:00 抄読会 9:00- 総回診	回診 病棟	回診 病棟	回診 病棟
午後	病棟 16:00- 神経放射線カンファ レンス 回診	病棟	病棟 回診	病棟 回診	病棟 回診
備考	朝回診は8:30～、夕回診は16:00～を基本としています。筋生検（不定期）は8:30～。 研修医セミナーや症例検討会、筋病理セミナー等が適宜開催されます。				

眼 科

1. 指 導 医

指導責任者： 石田 晋

指導医： 南場研一、野田航介、岩田大樹、加瀬 諭、安藤 亮、斎藤理幸、
木嶋理紀、董 震宇

2. 研修内容

外来業務、病棟業務をおこない、眼科医に必要な知識や手技を習得する。
豊富な手術症例に携わり、主に助手としてのスキルを学ぶ。
研修中は頻繁に豚眼にて実際の器具を用いた手術実習をおこない、顕微鏡下で手技を学ぶ。

	月	火	水	木	金
午前	手術、病棟業務 外来	手術、病棟業務 外来	手術、病棟業務	手術、病棟業務 外来	手術、病棟業務
午後	手術、病棟業務 イブニングクルズス 網膜カンファレンス	手術、病棟業務 ぶどう膜炎カンファ レンス	手術、病棟業務 教授回診 手術実習 クリニカルレンス	手術、病棟業務 病棟医長回診	手術、病棟業務 イブニングクルズス

耳鼻咽喉科

1. 指導医

指導責任者： 本間明宏

指導医： 中丸裕爾、加納里志、藤原圭志、森田真也、鈴木正宣、対馬那由多、鈴木崇祥

2. 研修内容

まず耳鼻咽喉・頭頸部の所見の取り方を習得してもらいます。外来では新患者の問診をとり、上級医とともに診察、検査を行います。病棟では主治医の一員として担当患者の診察、全身管理を行います。手術では助手として基本的手技を習得した上で、気管切開術など基本的な手術においては上級者の指導のもとで術者として経験できます。カンファレンスでは術前患者の紹介、術後患者の報告を行ってもらいます。

	月	火	水	木	金
午前	8:00 手術、病棟回診、一般外来	7:30 カンファレンス 8:30 病棟回診、専門外来	8:30 病棟回診、一般外来、専門外来	7:30 カンファレンス 8:00 手術、病棟回診	8:30 病棟回診、一般外来、専門外来
午後	手術、病棟業務	14:00 頭頸部カンファレンス 病棟業務	病棟業務	手術、病棟業務	病棟業務

皮膚科

1. 指導医

指導責任者： 氏家英之

指導医： 夏賀 健、柳 輝希、泉健太郎、北村真也、今福恵輔

2. 研修内容

<p>病棟での患者管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム医療の一員として、病棟での患者管理に携わり、指導医のもとの確な診療を行う ・各種検査の実践・理解・説明 <p>基本的手術操作の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚外科の基本手技を理解し、真皮および表皮縫合などができる ・植皮を必要とする悪性腫瘍摘出術など様々な手術の助手を経験する <p>外来診療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導医の皮膚科外来の診療助手を務める
--

	月	火	水	木	金
午前	外来手術	外来病棟	外来・専門外来（アトピー）手術	総回診病棟	外来病棟
午後	病棟手術	病棟専門外来（水疱症）病理ティーチング	病棟手術病理ティーチング医局カンファレンス	専門外来（乾癬、皮膚外来、PUVA）病棟研修医プログラム	病棟専門外来（表皮水疱症・魚鱗癬）

精神科神経科

1. 指導医

指導責任者： 久住一郎

指導医： 橋本直樹、三井信幸、成田 尚、豊島邦義、磯山友幸、中村悠一、
秋山 久、野原万梨子、齊藤卓弥、柳生一自、須山 聡、中右麻理子

2. 研修内容

<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者の担当医： 上級医と一緒に担当（月 6 名程度）、診療グループでもサポート、疾患が偏らないよう振り分け 長期研修の場合、診療グループは数ヶ月ごとにローテート ・外来初診患者の問診と陪席： 問診と初診医の診察見学（1日2名予約） ・カンファレンスでの発表： 水・金の朝に入院患者のカンファレンス開催、月・水の夕方にも症例検討会開催 水にリエゾンカンファレンス開催 ・系統講義： 短期研修向け（1か月）→月7時間、長期研修向け（通年）→年間120時間以上 ・講演会・研究発表（教室行事）： 毎週水曜日17時から開催
--

	月	火	水	木	金
午前	9:30 外来問診・陪席	8:30 系統講義（年間） 9:30 外来問診・陪席	8:30 病棟カンファ 9:30 外来問診・陪席	8:30 系統講義（年間） 9:30 外来問診・陪席	8:30 病棟カンファ 9:30 外来問診・陪席
午後	13:00 多職種カンファ（隔週） 14:00 グループ回診 15:00 総回診 16:00 症例検討会	14:30 系統講義（月1） 15:00 リエゾンカンファ 16:00 系統講義（月1） 17:00 系統講義（年間）	13:40 病棟レク 15:00 リエゾンカンファ 16:00 系統講義（月2） 17:00 教室行事	15:00 系統講義（月1） 16:00 系統講義（月2） 17:00 系統講義（年間）	15:00 系統講義（月2） 16:00 系統講義（年間） 17:00 系統講義（年間）
備考					

脳神経外科

1. 指導医

指導責任者： 藤村 幹

指導医： 長内俊也、杉山 拓、山口 秀、伊東雅基、川堀真人、茂木洋晃

2. 研修内容

脳血管障害、脳腫瘍、脊髄疾患に加えて機能外科部門を増設してより幅広い神経疾患の外科治療を実際に主治医となり研修していただきます。もちろん習熟度・理解度に応じて切る、縫う、開頭するなど手術にも加わっていただきます。

しっかりメンバーとして責任を持って診療に参加してもらうのがモットーです。期間中は希望科にかかわらず脳外科の一メンバーとして研修していただきますので厳しい面もあるかもしれませんが密度の高い時間を過ごせると思います。

	月	火	水	木	金
午前	朝ミーティング 手術 創部処置など	総回診 朝ミーティング 創部処置など	手術 創部処置など	総回診 小児科腫瘍合同 カンファレンス 創部処置など	血管内治療ミー ティング 手術 創部処置など
午後	手術 放射線カンファ 夜ミーティング+ 回診	イブニングセミ ナー 夜ミーティング +回診	手術 夜ミーティング +回診	夜ミーティング +回診	手術 夜ミーティング +回診
備考	随時、術前カンファレンスを行います。				

リハビリテーション科

1. 指導医

指導責任者： 生駒一憲

指導医： 池田 聡、千葉春子

2. 研修内容

主に神経筋疾患のリハビリテーション医療について、病棟主治医として運動学的・神経学的評価、神経心理学的評価、嚥下評価、ADL 評価などを行い、リハビリテーション計画を作成、リハビリテーション処方を行う。

	月	火	水	木	金
午前	カンファレンス 病棟診療 新来見学	病棟診療	6-2 病棟回診 リハ科病棟回診 カンファレンス 医局会	病棟診療 新来見学	病棟診療
午後	病棟診療 カンファレンス 2-2、9-2、HCU 回診	病棟診療 ボツリヌストキ シン療法	抄読会、 嚥下造影検査 嚥下カンファレ ンス 合同カンファレ ンス	病棟診療	病棟診療 嚥下造影検査

産婦人科

1. 指導医

指導責任者： 渡利英道

指導医： 工藤正尊、小林範子、馬詰 武、武田真人、金野陽輔、三田村卓、千葉健太郎、井平 圭、遠藤大介、朝野拓史、細川亜美

2. 研修内容

産科（周産期）婦人科（腫瘍、女性医学）生殖医学の3分野に分かれて研修します。3分野全ての研修が理想ですが1分野1か月でも大丈夫です。

産科	月	火	水	木	金
8:30～	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス
午前	病棟 妊婦健診	病棟 新来 手術	病棟 妊婦健診	病棟 新来 妊婦健診	病棟 新来 手術
午後	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟
14:00～	産科ミーティング				
16:30～	合同ミーティング		勉強会		

婦人科	月	火	水	木	金
8:00～	カンファレンス	手術 病棟	カンファレンス	病棟	手術 病棟
午前	病棟 新来		病棟 新来		
午後	病棟	病棟	病棟	病棟	手術
14:00～	放射線カンファレンス	手術			
15:00～	プレゼン準備	病棟			
16:30～	合同ミーティング	術後管理他	水曜カンファレンス	病理カンファレンス	病棟
17:30～			勉強会		術後管理他

小 児 科

1. 指 導 医

指導責任者： 真部 淳

指導医： 真部 淳、山田雅文、竹崎俊一郎、植木将弘、石黒信久、長 祐子、平林真介、杉山未奈子、寺下友佳代、白石秀明、江川 潔、植田佑樹、鳴神雅史、中久保佐千子、朝比奈直子、岡本孝之、佐藤泰征、林 麻子、上田泰弘、中村明枝、山口健史、菱村 希、武田充人、山澤弘洲、泉 岳、永井礼子、佐々木大輔、辻岡孝郎、長 和俊、古瀬優太、中村雄一、本庄遼太、小杉山清隆、柳生一自

(*指導医：小児科専門医として5年以上の経験あり、以上34名)

2. 研修内容

免疫	免疫班では免疫不全症、リウマチ・膠原病、自己炎症性疾患などの比較的希な疾患を対象としていますが、こうした患者さんの診療を通して生体防御機構を学び、医療現場でしばしば問題となる”不明熱”や”難治性感染症”の考え方を身につけることが出来ます。
血液	白血病や小児固形腫瘍の診断、化学療法、造血細胞移植の管理を学びます。 日常診療のなかでは点滴確保や骨髄穿刺、腰椎穿刺といった処置も経験できるほか、骨髄標本の読み方の指導も行っています。
循環器	先天性心疾患を中心に新生児から成人までを診療しており、循環管理について学べます。 採血や静脈ライン確保などの手技に加え、希望に応じて心エコーやカテーテルにも触れてもらえます。
内分泌	成長障害・内分泌疾患の診断、治療、検査、遺伝学的検査を研修。 1. 甲状腺疾患(先天性、後天性) 2. 下垂体疾患(前葉、後葉) 3. 性腺疾患 4. 副腎疾患 5. 骨系統疾患 小児1型糖尿病・2型糖尿病・肥満症の診断、治療の研修 先天性疾患、遺伝性疾患、家族性腫瘍、などの遺伝医療の研修
腎臓	小児腎臓病全般の診療を行っています。 主な疾患として、ネフローゼ症候群、I g A腎症、膜性腎症、膜性増殖性糸球体腎炎、紫斑病性腎炎、先天性腎尿路異常、遺伝性腎疾患、ループス腎炎、腎不全、学校検尿異常(血尿、蛋白尿)などが挙げられます。
神経	小児神経疾患全般(てんかん、筋疾患、神経変性疾患など)に関して入院・外来での研修を行っています。 また、発達障害、自閉症に関して、主に外来での診療研修を行っています。
新生児	新生児グループでは、正常新生児から出生体重500g未満などの成育限界に近いハイリスク新生児までを診療の対象としています。 産科のみならず、小児外科や眼科など多数の診療科と連携して診療に取り組んでいます。

【新患紹介・総回診の日程】新生児グループ：火曜日午後1時、その他のグループ：水曜日午後1時半
*1週間のスケジュールはグループによって異なります。

放射線治療科

1. 指導医

指導責任者： 青山英史

指導医： 橋本孝之、加藤徳雄、田口大志、木下留美子、安田耕一、西岡健太郎、
森 崇、打浪雄介

2. 研修内容

放射線治療全般についての研修を行います。具体的には新患の診察、放射線治療計画の作成、放射線治療中の診察を指導医とともにを行います。
放射線治療の対象は原発性脳腫瘍、頭頸部腫瘍、肺癌、乳癌、消化器癌、泌尿器腫瘍、婦人科腫瘍、骨軟部腫瘍、小児腫瘍、悪性リンパ腫、転移性腫瘍等、全身・多岐にわたるため、全身の診察技術に触れる事が出来ます。

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診 外来診察	病棟回診 外来診察	病棟カンファ レンス リサーチミーテ ィング	消化器科カンフ ァレンス 病棟回診 外来診察	病棟回診 放射線治療中診 察
午後	婦人科カンファ レンス 小線源治療 治療計画作成 症例検討会	頭頸部カンファ レンス 治療計画作成 症例検討会	治療計画作成 症例検討会	治療計画作成 小線源治療 症例検討会	治療計画作成 症例検討会

放射線診断科・核医学診療科

1. 指導医

指導責任者： 放射線診断科

工藤與亮

核医学診療科

平田健司

指導医： 放射線診断科

阿保大介、加藤扶美、藤間憲幸、清水幸衣、

坂本圭太、森田 亮、原田太以佑、亀田浩之

核医学診療科

平田健司、渡邊史郎

2. 研修内容

体幹部 中枢神経 IVR (共通) 核医学	研修開始時に体幹部、中枢神経、IVR、核医学のどれを研修希望かを確認します。 研修は8:30-17:00まで、体幹部(特に胸部・腹部のCT)・中枢神経グループ(頭部CT/MRI)はティーチングファイルでの自己学習の後、実際の症例を読影し適宜指導医から読影レポートのチェック・指導を受けます。 IVRは朝8:30～の症例検討会から手技の見学、手伝いをします。 体幹部・中枢神経読影の研修として、画像検査の適応やモダリティ選択、造影検査の必要性、画像解剖、正常変異や病的所見の検出や記載、病態に応じた記載内容の検討、悪性腫瘍のステージング、鑑別疾患の挙げ方、手技の内容や適応、合併症などを学びます。 核医学診療科では実際のRI投与から画像の撮像、読影の流れを理解し、FDGを主体としたPET/CT検査及び各種RI検査の総合的な画像診断を学んでもらいます。また、甲状腺癌、Basedow病、前立腺癌、神経内分泌腫瘍に対するRI内用療法の適応や特長についても学んでもらいます。
--------------------------------	--

	月	火	水	木	金
午前	9:30- 症例カンファレンス 読影	読影	読影	8:00- 朝カンファレンス 読影	読影
午後	読影	読影 16:30- 症例カンファレンス	読影 16:30- 症例カンファレンス	読影 16:30- 症例カンファレンス	読影 16:30- 症例カンファレンス
備考	各グループは最大2名まで、必要に応じて研修医間で研修の順番や期間を調整して頂く可能性があります。 研修するグループは週単位で調整可能です。				

病理診断科

1. 指導医

指導責任者： 松野吉宏

指導医： 松野吉宏、高桑恵美、清水亜衣

2. 研修内容

実際の手術検体や生検検体の病理診断の体験を通じ、適切な検体の取り扱いや代表的な疾患の病理所見の診かた、鑑別診断などの思考過程、報告書記載の要点などを学びます。術中迅速診断や細胞診にも触れ、その意義や限界を学びます。また、臨床病理カンファレンス、あるいは地方会などにおけるプレゼンテーションを通じて、病理所見や考察を正しく簡潔に伝えるスキルを学びます。抄読会に参加し、病理診断領域の新しい知識に触れます。

	月	火	水	木	金
午前	8:30 meeting 9:30 組織検討会	9:30 組織検討会	9:30 組織検討会	9:30 組織検討会	9:30 組織検討会
午後	13:00 細胞診検討会	13:00 細胞診検討会	13:00 細胞診検討会 13:45 皮膚病理検討会	13:00 細胞診検討会	13:00 細胞診検討会
備考	初日は8:30に、2階病理部の診断室に集合してください。				

感染制御部

1. 指導医

指導責任者： 石黒信久

指導医： 石黒信久、中久保祥

2. 研修内容

①血液培養陽性患者に関する診療支援、感染症の診断および治療に関するコンサルテーションを中心に感染症診療の基本を学びます。これらを通して、抗菌薬適正使用に関する基本的な知識、予防接種に関する基礎的な知識、TDMの基本的な考え方等を習得します。

②ICT (Infection Control Team)と共に、院内感染事例の対応、ICT会議やICTラウンドへの参加を通して、感染制御の考え方を習得します。

	月	火	水	木	金
午前	症例検討	症例検討	症例検討	症例検討	症例検討
午後	感染症セミナー	感染症セミナー	ICTラウンドに 同行	感染症セミナー	感染症セミナー

臨床研究開発センター

1. 指導医

指導責任者： 佐藤典宏

指導医： 曹 圭龍

2. 研修内容

臨床研究は、①臨床研究実施計画書の作成、②手順書等の文書作成、③研究支援体制のチームビルディング、④倫理審査委員会への申請と承認、⑤研究の実施、⑥試験データのデータマネジメント、⑦統計解析、⑧最終報告書作成、これら一連の流れで行われます。研修プログラムは、研究の開始から終了までに必要な手順とその流れが理解できるよう、講義、実習、課題から構成されます。これらに加えて、細胞プロセッシングセンターやバイオバンク等における先端的な医療技術開発の現場にも触れることが出来るよう研修プログラムを準備しています。

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション 研修課題の設定 講義： ・臨床研究・治験概要	講義： ・知財戦略 ・再生医療（CPC） ・臨床研究と厚労省行政	講義： ・臨床研究のCRC支援 ・Phase1 について ・生物統計	実習 ・モニタリング研修 ・モニター認定証発行	課題の実施
午後	講義： ・臨床研究データのピットホール ・研究の医療安全管理	講義： ・バイオバンク活用による先端診断技術開発 課題の実施	講義： 臨床研究の倫理 課題の実施	生命・医学系研究倫理審査委員会／認定臨床研究審査委員会への陪席（開催される場合）	（疑似体験） ・技術専門員会で課題の発表 ・研修ラップアップ
備考	直近で実施した研修プログラムの例として示しています。				

臨床遺伝子診療部

1. 指導医

指導責任者： 矢部一郎

指導医： 長 和俊、河口 哲、三田村卓、森田真也、松島理明、山澤弘州、
永井礼子、中村明枝

研修担当者： 柴田有花（認定遺伝カウンセラー）

2. 研修内容

臨床遺伝子診療部では、遺伝診療（検査・診断）やヒトゲノム研究にかかわる遺伝カウンセリングを実施しています。研修期間中は、遺伝カウンセリングや産科遺伝出生前診断外来の見学を通して遺伝診療の一端に触れることができます。また、希望により遺伝学的検査の概要についても研修できます。

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション 家系図記載方法	産科遺伝出生前 診断外来見学	遺伝カウンセリング実習	遺伝カウンセリング実習	遺伝カウンセリング実習
午後	遺伝カウンセリング実習	産科遺伝出生前 診断外来見学	産科遺伝出生前 診断外来見学	産科遺伝出生前 診断外来見学	遺伝カウンセリング実習
備考	研修期間中に、多領域（産婦人科、小児科、耳鼻科、神経内科、がん遺伝子診断部等）の遺伝診療についてのレクチャー及び定期カンファレンスあり。				

超音波センター

1. 指導医

指導責任者： 豊嶋崇徳

指導医： 豊嶋崇徳、工藤與亮

指導担当技師： 岩井孝仁、表原里実、菊池桃佳、工藤悠輔、坂野稜典、佐藤恵美、
進藤由衣香、堀江達則、西田 睦

2. 研修内容

心エコー以外の領域のエコー研修を行います。実技実習では超音波プローブの持ち方、走査方法、各臓器の描出法などを学んでいただきます。最初はスクリーニング症例、経過観察症例を対象として被検者にあわせた走査方法を習得します。走査法を習得しつつ、症例に合わせた検査の進め方、一般的な疾患の超音波像、所見の捉え方、レポートニング法を学びます。希望により研修対象疾患をある程度限定することも可能です（例：小児科疾患、泌尿器、乳腺、甲状腺などの体表臓器、血管、運動器など）

	月	火	水	木	金
午前	(最初のみオリエンテーション) 検査見学、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェック	指導者検査施行後検査、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェック	指導者検査施行後検査、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェック	指導者施行前検査とダブルチェック	指導者施行前検査とダブルチェック
午後	見学と実技実習 (毎週 19:00-肝カンファレンス、1回/月 18:00- 乳腺外科カンファレンス、4回/年 関節カンファレンス)	見学と実技実習	指導者検査施行後検査とレポートニング、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェックとレポートニング。適宜実技実習(毎週消化器外科 II 主催胆膵カンファレンス 18:30-19:30)	指導者施行前検査とダブルチェックとレポートニング、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェックとレポートニング。適宜実技実習	指導者施行前検査とダブルチェックとレポートニングとレポートニング。適宜実技実習 (毎週 17:30-18:00 消化器病理カンファレンス、1回/月 17:00-18:00 泌尿器科カンファレンス)
備考	検査が落ち着いた段階で実技実習を行います。できましたらモデルさんは同僚の先生などにお願ひできましたらと思います。また希望があれば毎週木または金曜にポイントレクチャー（胆嚢炎の診断法、虫垂の描出法など）希望により上記記載の各科カンファレンス出席。おおよその走査法習得の目安：胆嚢のみ2週間、胆嚢肝臓1か月、肝胆膵腎脾2～3か月、消化管を含む腹腔内臓器3か月、DVT1か月、手指関節2週間など）				

検査・輸血部

1. 指導医

指導責任者： 杉田純一

指導医： 杉田純一

2. 研修内容

現在、初期研修の受入を休止しております。

募集定員ならびに募集及び採用の方法

1. 募集定員

- ・標準プログラム 32名（※26名に変更予定）
（国際的医療人育成プログラム及びCLARCプログラム（若干名）を含む）
- ・実践産婦人科プログラム 2名
- ・実践小児科プログラム 2名

2. 募集方法

- ① 募 集 募集定員のすべてをマッチングで募集する。
マッチングで欠員が生じた場合には、マッチング終了後に2次募集する。
- ② 応募〆切 令和4年7月22日（金）
- ③ 応募書類 医科臨床研修医申請書、国際的医療人育成プログラム志望理由書
（志望者のみ）
- ④ 選 考 日 (1) 令和4年8月21日（日）
(2) 令和4年8月25日（木）
(3) 令和4年9月1日（木）
- ⑤ 選考方法 書類審査・面接試験（WEB面接）
- ⑥ 採用通知 マッチング結果によりただちに本人に通知する。

※詳細はホームページに掲載します。

3. その他

以下の病院の協力型臨床研修病院として、研修医の受け入れを行うことがある。

市立函館病院

市立札幌病院

JA 北海道厚生連札幌厚生病院

公益社団法人北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院

医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院

医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院

KKR札幌医療センター

NTT 東日本札幌病院

医療法人 母恋 日鋼記念病院

市立室蘭総合病院

市立旭川病院

JA 北海道厚生連旭川厚生病院

JA 北海道厚生連帯広厚生病院

医療法人王子総合病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院
砂川市立病院
江別市立病院
岩見沢市立総合病院
社会医療法人北斗 北斗病院
滝川市立病院
苫小牧市立病院
社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院
北見赤十字病院
市立釧路総合病院
留萌市立病院
社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院
製鉄記念室蘭病院
社会医療法人母恋 天使病院
市立千歳市民病院
独立行政法人国立病院機構 函館病院
社会福祉法人 北海道社会事業協会小樽病院
深川市立病院
釧路赤十字病院
KKR札幌医療センター 斗南病院
旭川赤十字病院
独立行政法人国立病院機構旭川医療センター
市立稚内病院
独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター
JA 北海道厚生連網走厚生病院
恵み野病院
八雲総合病院
小樽市立病院
JA 北海道厚生連倶知安厚生病院

臨床研修協力病院一覧

病 院 名	住 所	電話番号	F A X
市立函館病院	函館市港町1丁目10番1号	0138-43-2000	0138-43-4434
市立札幌病院	札幌市中央区北11西13-1-1	011-726-2211	011-726-7912
JA 北海道厚生連札幌厚生病院	札幌市中央区北3条東8丁目5番地	011-261-5331	011-271-5320
(独)地域医療機能推進機構札幌北辰病院	札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2-1	011-893-3000	011-893-4001
医療法人徳洲会札幌徳洲会病院	札幌市厚別区大谷地東1丁目1-1	011-890-1110	011-896-2202
医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院	札幌市東区北33条東14丁目3-1	011-722-1110	011-723-5631
KKR 札幌医療センター	札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40	011-822-1811	011-841-4572
社会医療法人母恋日鋼記念病院	室蘭市新富町1丁目5-13	0143-24-1331	0143-22-5296
市立旭川病院	旭川市金星町1丁目1番65号	0166-24-3181	0166-24-1125
JA 北海道厚生連旭川厚生病院	旭川市1条通24丁目111番地	0166-33-7171	0166-33-6075
JA 北海道厚生連帯広厚生病院	帯広市西14条南10丁目1番地	0155-65-0101	0155-65-0105
(独)労働者健康安全機構釧路労災病院	釧路市中園町13番23号	0154-22-7191	0154-25-7308
名寄市立総合病院	名寄市西7条南8丁目1番地	01654-3-3101	01654-2-0567
医療法人王子総合病院	苫小牧市若草町3丁目4番8号	0144-32-8111	0144-32-7119
社会医療法人北楡会札幌北楡病院	札幌市白石区東札幌6条6丁目5-1	011-865-0111	011-865-9719
(独)地域医療機能推進機構北海道病院	札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18	011-831-5151	011-821-3851
社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院	函館市五稜郭町38番3号	0138-51-2295	0138-56-2695
砂川市立病院	砂川市西4条北3丁目1番1号	0125-54-2131	0125-54-0101
江別市立病院	江別市若草町6番地	011-382-5151	011-384-1321
岩見沢市立総合病院	岩見沢市9条7丁目2番地	0126-22-1650	0126-25-0886
滝川市立病院	滝川市大町2丁目2番34号	0125-22-4311	0125-24-6010
苫小牧市立病院	苫小牧市清水町1丁目5番20号	0144-33-3131	0144-34-7511
社会福祉法人北海道社会事業協会帯広病院	帯広市東5条南9丁目2	0155-22-6600	0155-24-7076
北見赤十字病院	北見市北6条東2丁目	0157-24-3115	0157-22-3339
市立釧路総合病院	釧路市春湖台1番12号	0154-41-6121	0154-41-4080
社会福祉法人函館厚生院函館中央病院	函館市本町33番2号	0138-52-1231	0138-54-7520
社会医療法人製鉄記念室蘭病院	室蘭市知利別町1丁目45番地	0143-44-4650	0143-47-4354
社会医療法人母恋天使病院	札幌市東区北12条東3丁目1番1号	011-711-0101	011-751-1708
(独)労働者健康安全機構 北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目5番地	0126-22-1300	0126-22-1304
市立千歳市民病院	千歳市北光2丁目1番1号	0123-24-3000	0123-24-3005
(独)国立病院機構函館病院	函館市川原町18番16号	0138-51-6281	0138-51-6288
社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院	小樽市住ノ江1丁目6番15号	0134-23-6234	0134-33-7752
釧路赤十字病院	釧路市新栄町21番14号	0154-22-7171	0154-24-7880
公益財団法人北海道医療団帯広第一病院	帯広市西4条南15丁目17番地3	0155-25-3121	0155-25-1172
国家公務員共済組合連合会斗南病院	札幌市中央区北4条西7丁目3-8	011-231-2121	011-231-5000
旭川赤十字病院	旭川市曙1条1丁目1番1号	0166-22-8111	0166-24-4648
市立稚内病院	稚内市中央4丁目11番6号	0162-23-2771	0162-23-5636
JA 北海道厚生連網走厚生病院	網走市北6西1-9	0152-43-3157	0157-43-6586
小樽市立病院	小樽市若松1丁目1番1号	0134-25-1211	0134-32-6424

臨床研修施設

*施設区分
1:臨床研修病院
2:臨床研修協力施設

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○北海道大学病院	030010	1	北海道	札幌市	秋田 弘俊	944	179	○	○		○	○	○	○		○	○	
市立札幌病院	030003	1	北海道	札幌市	西川 秀司	672	58	○	○		○	○	○	○	○	○	○	院外研修協力病院
JCHO札幌北辰病院	030007	1	北海道	札幌市	高橋 昌宏	276	25	○	○		○	○	○	○			○	院外研修協力病院
手稲漢仁会病院	030008	1	北海道	札幌市	成田 吉明	670	50	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院 (国際的医療人優先)
医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	030011	1	北海道	札幌市	奥山 淳	301	34	○	○		○	○	○			○	○	院外研修協力病院
KKR札幌医療センター	030016	1	北海道	札幌市	磯部 宏	410	39	○	○		○	○	○		○	○	○	院外研修協力病院
NTT東日本札幌病院	030019	1	北海道	札幌市	吉岡 成人	301	24	○	○		○	○	○			○	○	院外研修協力病院
市立旭川病院	030024	1	北海道	旭川市	斉藤 裕輔	478	36	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
JA北海道厚生連 帯広厚生病院	030027	1	北海道	帯広市	菊池 英明	651	57	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
医療法人 王子総合病院	030030	1	北海道	苫小牧市	岩井 和浩	440	28	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
札幌北楡病院	030032	1	北海道	札幌市	米川 元樹	281	9	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
砂川市立病院	030830	1	北海道	砂川市	田口 宏一	498	52	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
北海道社会事業協会帯広病院	030913	1	北海道	帯広市	阿部 厚憲	300	17	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
製鉄記念室蘭病院	030956	1	北海道	室蘭市	松木 高雪	347	23	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
市立稚内病院	031147	1	北海道	稚内市	國枝 保幸	332	9	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
JA北海道厚生連 倶知安厚生病院	041514	1	北海道	倶知安町	九津見 圭司	234	15			○					○			院外研修協力病院 (国際的医療人優先)
留萌市立病院	030923	1	北海道	留萌市	村松 博士	300	7			○					○			地域医療研修協力病院
奥尻町国民健康保険病院	031136	1	北海道	奥尻町	竹下 和良	54	2			○					○			地域医療研修協力病院
利尻島国保中央病院	032091	2	北海道	利尻町	保野 洋一	42	1			○					○			地域医療研修協力病院
本別町国民健康保険病院	034839	2	北海道	本別町	一条 正彦	60	5			○					○			地域医療研修協力病院
士別市立病院	034848	1	北海道	士別市	長島 仁	148	2			○					○			地域医療研修協力病院
町立中標津病院	034850	1	北海道	中標津町	丁子 清	199	5			○					○			地域医療研修協力病院
八雲総合病院	034876	1	北海道	八雲町	石田 博英	327	12			○					○			地域医療研修協力病院
国民健康保険東川町立診療所	041115	2	北海道	東川町	中田 宏志	19	2			○					○			地域医療研修協力病院
JA北海道厚生連 倶知安厚生病院	041514	1	北海道	倶知安町	九津見 圭司	234	15			○					○			地域医療研修協力病院
北海道社会事業協会余市病院	056543	1	北海道	余市町	吉田 秀明	170	2			○					○			地域医療研修協力病院
栗山赤十字病院	056556	2	北海道	栗山町	天崎 吉晴	136	6			○					○			地域医療研修協力病院
更別村国民健康保険診療所	056557	2	北海道	更別村	山田 康介	19	2			○					○			地域医療研修協力病院
寿都町立寿都診療所	086118	2	北海道	寿都町	今江 章宏	19	1			○					○			地域医療研修協力病院
医療法人大地 札幌真駒内病院	110008	1	北海道	札幌市	宮坂 祐司	80	2			○					○			地域医療研修協力病院
黒松内町国保くろまつない プナの森診療所	126816	2	北海道	黒松内町	高橋 琴絵	19	1			○					○			地域医療研修協力病院
医療法人北海道家庭医療学センター 栄町ファミリークリニック	147583	2	北海道	札幌市	中川 貴史	-	1			○					○			地域医療研修協力病院
向陽台ファミリークリニック	188956	2	北海道	千歳市	中島 徹	-	2			○					○			地域医療研修協力病院
市比野記念病院	032223	1	鹿児島	薩摩川内市	黒田 篤	199	5			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
出水郡医師会広域医療センター	032237	1	鹿児島	阿久根市	今村 博	222	11			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
曾於医師会立病院	032243	2	鹿児島	曾於市	才原 哲史	198	2			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
公立種子島病院	032248	1	鹿児島	南種子町	徳永 正朝	62	1			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
大島郡医師会病院	032250	1	鹿児島	奄美市	眞田 純一	188	3			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
奄美中央病院	033293	2	鹿児島	奄美市	福岡 雅彦	110	1			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
薩摩川内市下甕手打診療所	033850	2	鹿児島	薩摩川内市	齋藤 学	19	1			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
医療法人南湊会 宮上病院	067255	2	鹿児島	徳之島町	宮上 寛之	42	1			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
サザン・リージョン病院	086115	2	鹿児島	枕崎市	奥村 浩	131	6			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター	086116	2	鹿児島	西之表市	高尾 尊身	204	7			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
小林市立病院	110019	1	宮崎	小林市	坪内 斉志	143	5			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
恒心会 おぐら病院	116632	1	鹿児島	鹿屋市	小倉 修	216	6			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
種子島産婦人科医院	137411	2	鹿児島	西之表市	前田 宗久	15	1			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
枕崎市立病院	137416	2	鹿児島	枕崎市	佐々木 健	55	2			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
医療法人東札幌病院		2	北海道	札幌市	西山 正彦	243	6										○	緩和ケア研修協力病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○市立函館病院	030001	1	北海道	函館市	森下 清文	648	46	○	○		○	○	○	○	○	○	○	たすきがけ研修病院
八雲総合病院	034876	1	北海道	八雲町	石田 博英	327	12											

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○市立札幌病院	030003	1	北海道	札幌市	西川 秀司	672	58	○	○		○	○	○	○	○	○	○	たすきがけ研修病院
札幌市保健所	032428	2	北海道	札幌市	館石 宗隆	-	1											○

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○JA北海道厚生連 札幌厚生病院	030004	1	北海道	札幌市	髭 修平	516	76	○	○		○	○	○			○	○	たすきがけ研修病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○JCHO札幌北辰病院	030007	1	北海道	札幌市	高橋 昌宏	276	25	○	○		○	○	○	○	○	○	○	たすきがけ研修病院
医療法人重仁会大谷地病院	030017	1	北海道	札幌市	田尾 大樹	315	7								○			○
社会医療法人医仁会 中村記念病院	106123	1	北海道	札幌市	中村 博彦	499	32		○		○							○

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	030011	1	北海道	札幌市	奥山 淳	301	34	○	○		○	○	○			○	○	たすきがけ研修病院
札幌南徳洲会病院	056506	2	北海道	札幌市	四十坊 克也	88	3											○
おおあさクリニック		2	北海道	江別市	三川原 桂	-	1	○							○			○
札幌北14条クリニック		2	北海道	札幌市	平間 敏憲	-	1	○							○			○

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考	
○医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院	030014	1	北海道	札幌市	太田 智之	325	36	○	○		○	○			○	○	○	○	たすきがけ研修病院
札幌佐藤病院	030015	1	北海道	札幌市	中村 潔	244	3							○				○	
名寄市立総合病院	030029	1	北海道	名寄市	和泉 裕一	359	29						○					○	
医療法人育愛会 札幌東豊病院	030034	1	北海道	札幌市	犬走 英介	67	4						○					○	
青森県立中央病院	030040	1	青森	青森市	藤野 安弘	684	77											○	R4年度追加申請予定
札幌南徳洲会病院	056506	2	北海道	札幌市	四十坊 克也	88	3											○	
札幌トロイカ病院	070020	1	北海道	札幌市	有田 矩明	419	4											○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考	
○KKR札幌医療センター	030016	1	北海道	札幌市	磯部 宏	410	39	○	○		○	○	○		○	○	○	○	たすきがけ研修病院
医療法人社団 慈藻会 平松記念病院	030020	1	北海道	札幌市	宗 代次	228	7							○				○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考	
○社会医療法人 母恋 日鋼記念病院	030021	1	北海道	室蘭市	柳谷 晶仁	479	20	○	○		○	○	○		○	○	○	○	たすきがけ研修病院
社会医療法人 母恋 天使病院	030969	1	北海道	札幌市	西村 光弘	260	32	○	○		○	○	○		○			○	
社会医療法人友愛会 恵愛病院	030022	1	北海道	登別市	森田 伸行	250	2							○				○	
市立室蘭総合病院	030023	1	北海道	室蘭市	金戸 宏行	549	11	○	○		○	○	○		○			○	
特定医療法人社団千寿会 三愛病院	031142	1	北海道	登別市	千葉 泰二	534	3							○				○	
医療法人 北晨会 恵み野病院	034855	1	北海道	恵庭市	貝嶋 光信	199	12	○										○	
医療法人社団医修会 大川原脳神経外科病院	041012	1	北海道	室蘭市	前田 高宏	137	4				○							○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考	
○市立旭川病院	030024	1	北海道	旭川市	斉藤 裕輔	478	35	○	○		○	○	○		○	○	○	○	たすきがけ研修病院
旭川厚生病院	030025	1	北海道	旭川市	森 達也	539	52						○					○	
江別市立病院	030835	1	北海道	江別市	富山 光広	337	16	○					○					○	
旭川赤十字病院	031127	1	北海道	旭川市	牧野 憲一	520	58	○	○									○	
国立病院機構旭川医療センター	031145	1	北海道	旭川市	西村 英夫	310	15	○										○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考	
○JA北海道厚生連 旭川厚生病院	030025	1	北海道	旭川市	森 達也	539	52	○	○		○	○	○		○	○	○	○	たすきがけ研修病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考	
○JA北海道厚生連 帯広厚生病院	030027	1	北海道	帯広市	大瀧 雅文	651	57	○	○		○	○	○		○	○	○	○	たすきがけ研修病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考	
○独立行政法人労働者健康安全機構 釧路労災病院	030028	1	北海道	釧路市	高橋 弘昌	450	29	○	○		○							○	たすきがけ研修病院
市立釧路総合病院	030922	1	北海道	釧路市	高平 真	641	23					○	○	○				○	
釧路赤十字病院	031088	1	北海道	釧路市	山口 辰美	483	19					○	○	○				○	
北海道釧路総合振興局 保健環境部保健行政室・釧路保健所	032404	2	北海道	釧路市	高垣 正計	-	1											○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考	
○名寄市立総合病院	030029	1	北海道	名寄市	和泉 裕一	359	29	○	○		○	○	○		○	○	○	○	たすきがけ研修病院
市立稚内病院	031147	1	北海道	稚内市	國枝 保幸	332	7											○	
北海道上川総合振興局保健環境部 名寄地域保健室	032097	2	北海道	名寄市	三浦 寛高	-	1											○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考	
○医療法人 王子総合病院	030030	1	北海道	苫小牧市	岩井 和浩	440	28	○	○		○	○	○		○	○	○	○	たすきがけ研修病院
医療法人社団玄洋会道央佐藤病院	030031	1	北海道	苫小牧市	石川 幹雄	402	1							○				○	
苫小牧保健所	032098	2	北海道	苫小牧市	堀 幹典	-	1											○	
老人保健施設ケアライフ王子	032441	2	北海道	苫小牧市	大岩 均	-	1											○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考	
○札幌北楡病院	030032	1	北海道	札幌市	米川 元樹	281	9	○	○		○	○			○	○	○	○	たすきがけ研修病院
医療法人社団積信会 長野病院	030033	1	北海道	札幌市	石垣 博美	320	1							○				○	
医療法人育愛会 札幌東豊病院	030034	1	北海道	札幌市	犬走 英介	67	4						○					○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考	
○JCHO北海道病院	030035	1	北海道	札幌市	古家 乾	358	30	○	○		○	○	○		○	○	○	○	たすきがけ研修病院
勤医協中央病院	030006	1	北海道	札幌市	鈴木 隆司	450	44		○									○	
JCHO札幌北辰病院	030007	1	北海道	札幌市	高橋 昌宏	276	25	○										○	
医療法人社団 慈藻会 平松記念病院	030020	1	北海道	札幌市	宗 代次	228	7							○				○	
医療法人社団 五稜会病院	031138	1	北海道	札幌市	中島 公博	193	4							○				○	
北海道循環器病院	034857	2	北海道	札幌市	堀田 大介	95	4	○										○	
柏葉脳神経外科病院	040040	1	北海道	札幌市	寺坂 俊介	144	3											○	
札幌山の上病院	066793	1	北海道	札幌市	巖 建夫	288	3											○	
札幌しらかば台病院	090005	1	北海道	札幌市	遠藤 高夫	262	3											○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○函館五稜郭病院	030763	1	北海道	函館市	中田 智明	473	45	○	○		○	○	○		○	○	○	たすきがけ研修病院			
市立函館病院	030001	1	北海道	函館市	森下 清文	648	46					○						○			
社会医療法人 函館博栄会 函館渡辺病院	031134	1	北海道	函館市	増岡 昭生	536	1							○				○			
病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○砂川市立病院	030830	1	北海道	砂川市	田口 宏一	498	52	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	たすきがけ研修病院		
病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○江別市立病院	030835	1	北海道	江別市	富山 光広	337	16	○	○		○	○	○	○	○		○	○	たすきがけ研修病院		
病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○岩見沢市立総合病院	030844	1	北海道	岩見沢市	小倉 滋明	484	8	○	○		○	○	○	○	○		○	○	たすきがけ研修病院		
病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○滝川市立病院	030888	1	北海道	滝川市	松橋 浩伸	314	8	○	○		○			○				○	たすきがけ研修病院		
砂川市立病院	030830	1	北海道	砂川市	田口 宏一	498	42					○	○								
病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○苫小牧市立病院	030909	1	北海道	苫小牧市	松岡 伸一	384	19	○	○		○	○	○			○	○	○	たすきがけ研修病院		
苫小牧緑ヶ丘病院	031143	1	北海道	苫小牧市	土屋 潔	111	1							○				○			
苫小牧保健所	032098	2	北海道	苫小牧市	堀 幹典	—	1												○		
医療法人こぶし 植苗病院	056553	1	北海道	苫小牧市	片岡 昌哉	177	1							○					○		
医療法人社団玄洋会道央佐藤病院	030031	1	北海道	苫小牧市	石川 幹雄	402	1							○					○		
医療法人資生会 千歳病院	147614	1	北海道	千歳市	佐藤 正俊	—	1							○					○		
R3プログラムから追加(週及変更)																					
R3プログラムから追加(週及変更)																					
病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○北海道社会事業協会帯広病院	030913	1	北海道	帯広市	阿部 厚憲	300	17	○	○		○	○	○					○	○	たすきがけ研修病院	
JA北海道厚生連 帯広厚生病院	030027	1	北海道	帯広市	菊池 英明	651	57													○	
社会医療法人北斗 北斗病院	030870	1	北海道	帯広市	井出 涉	267	10													○	
医療法人社団博仁会 大江病院	031150	1	北海道	帯広市	大江 平	154	3							○						○	
国立病院機構帯広病院	034847	1	北海道	帯広市	本間 裕士	334	1							○						○	
社会医療法人恵和会 帯広中央病院	201022	2	北海道	帯広市	菅原 好孝	102														○	
北海道立緑ヶ丘病院	200004	1	北海道	音更町	東端 憲仁	168	2													○	
病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○北見赤十字病院	030914	1	北海道	北見市	荒川 穰二	532	33	○	○		○	○	○					○	○	たすきがけ研修病院	
旭川赤十字病院	031127	1	北海道	旭川市	牧野 憲一	520	58													○	
北海道立北見病院	116155	1	北海道	北見市	井上 聡巳	70	4	○	○		○	○								○	
内科必修科:呼吸器内科																					
病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○市立釧路総合病院	030922	1	北海道	釧路市	高平 真	643	20	○	○		○	○	○					○	○	たすきがけ研修病院	
北海道釧路総合振興局 保健環境部保健行政室・釧路保健所	032404	2	北海道	釧路市	高垣 正計	—	1													○	
病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○社会福祉法人 函館厚生院函館中央病院	030952	1	北海道	函館市	本橋 雅壽	527	22	○	○		○	○	○					○	○	たすきがけ研修病院	
社会医療法人 函館博栄会 函館渡辺病院	031134	1	北海道	函館市	増岡 昭生	536	1							○						○	
八雲総合病院	034876	1	北海道	八雲町	石田 博英	327	12			○				○						○	
選択科:精神科																					
選択科:精神科																					
病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○製鉄記念室蘭病院	030956	1	北海道	室蘭市	松木 高雪	347	25	○	○		○	○	○					○	○	たすきがけ研修病院	
社会医療法人友愛会 恵愛病院	030022	1	北海道	登別市	森田 伸行	250	2							○						○	
特定医療法人社団千寿会 三愛病院	031142	1	北海道	登別市	千葉 泰二	534	3							○						○	
病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○社会医療法人 母恋 天使病院	030969	1	北海道	札幌市	西村 光弘	260	32	○	○		○	○	○					○	○	たすきがけ研修病院	
勤医協中央病院	030006	1	北海道	札幌市	鈴木 隆司	450	44		○											○	
社会医療法人 母恋 日鋼記念病院	030021	1	北海道	室蘭市	柳谷 晶仁	479	20	○	○		○	○	○							○	
中江病院	032450	1	北海道	札幌市	小林 清樹	280	4							○						○	
北海道泌尿器科記念病院	066461	2	北海道	札幌市	鈴木 要	40	5													○	
札幌麻生脳神経外科病院	090003	1	北海道	札幌市	飛驒 一利	145	8													○	
社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院	090004	1	北海道	札幌市	大川 洋平	276	2													○	
病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○北海道中央労災病院	031006	1	北海道	岩見沢市	大塚 義紀	199	11	○	○		○									○	たすきがけ研修病院
病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考			
○市立千歳市民病院	031020	1	北海道	千歳市	伊藤 昭英	190	24	○	○		○	○	○							○	たすきがけ研修病院
医療法人資生会 千歳病院	147614	1	北海道	千歳市	佐藤 正俊	—	—							○						○	R4年度追加申請予定

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○国立病院機構函館病院	031023	1	北海道	函館市	加藤 元嗣	365	18	○	○		○						○	たすきがけ研修病院
国立病院機構仙台医療センター	030046	1	宮城	仙台市	上之原 宏司	660	87	○	○			○	○				○	
社会福祉法人 函館厚生院 函館中央病院	030952	1	北海道	函館市	本橋 雅壽	527	17						○					
社会医療法人 函館博栄会 函館渡辺病院	031134	1	北海道	函館市	増岡 昭生	536	1							○				
国立病院機構旭川医療センター	031145	1	北海道	旭川市	西村 英夫	310	15	○										
国立病院機構北海道医療センター	034846	1	北海道	札幌市	菊地 誠志	643	46		○		○	○				○		

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○北海道社会事業協会小樽病院	031051	1	北海道	小樽市	柿木 滋夫	240	11	○	○			○	○				○	たすきがけ研修病院
北海道社会事業協会帯広病院	030913	1	北海道	帯広市	阿部 厚憲	300	17											○
小樽市立病院	040004	1	北海道	小樽市	信野 祐一郎	388	35		○									

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○釧路赤十字病院	031088	1	北海道	釧路市	山口 辰美	483	19	○	○		○	○	○	○	○		○	たすきがけ研修病院
独立行政法人労働者健康安全機構 釧路労災病院	030028	1	北海道	釧路市	高橋 弘昌	450	29	○			○						○	○
北見赤十字病院	030914	1	北海道	北見市	荒川 穰二	532	33	○	○		○	○	○	○	○		○	○
市立釧路総合病院	030922	1	北海道	釧路市	高平 真	643	23	○	○		○	○	○	○	○		○	○
旭川赤十字病院	031127	1	北海道	旭川市	牧野 憲一	520	58	○	○		○	○	○	○	○		○	○
北海道釧路総合振興局 保健環境部保健行政室・釧路保健所	032404	2	北海道	釧路市	高垣 正計	-	1											○
釧路市夜間急病センター	086276	2	北海道	釧路市	杉元 紘一	-	0		○									

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○帯広第一病院	031089	1	北海道	帯広市	山並 秀章	230	9	○	○		○						○	たすきがけ研修病院
IA北海道厚生連帯広厚生病院	030027	1	北海道	帯広市	菊池 英明	651	57					○						
医療法人社団博仁会 大江病院	031150	1	北海道	帯広市	大江 平	154	3							○				
慶愛病院	096268	2	北海道	帯広市	廣瀬 一浩	51	2						○					

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○斗南病院	031107	1	北海道	札幌市	奥芝 俊一	283	42	○	○		○	○	○	○	○		○	たすきがけ研修病院
医療法人育愛会 札幌東豊病院	030034	1	北海道	札幌市	犬走 英介	67	4						○					
社会医療法人 母恋 天使病院	030969	1	北海道	札幌市	西村 光弘	260	32					○						
医療法人社団 五稜会病院	031138	1	北海道	札幌市	中島 公博	193	4							○				
社会医療法人 医仁会 中村記念病院	106123	1	北海道	札幌市	中村 博彦	499	32		○		○							○

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○旭川赤十字病院	031127	1	北海道	旭川市	牧野 憲一	520	58	○	○		○	○	○	○	○		○	たすきがけ研修病院
市立旭川病院	030024	1	北海道	旭川市	斉藤 裕輔	478	36							○				
IA北海道厚生連 旭川厚生病院	030025	1	北海道	旭川市	森 達也	539	52					○	○					
名寄市立総合病院	030029	1	北海道	名寄市	室野 晃一	359	29						○					
前橋赤十字病院	030111	1	群馬	前橋市	中野 実	555	75											
北見赤十字病院	030914	1	北海道	北見市	荒川 穰二	532	33	○	○		○	○	○	○	○		○	○
釧路赤十字病院	031088	1	北海道	釧路市	山口 辰美	483	19				○	○	○	○	○		○	○
旭川赤十字病院	031127	1	北海道	旭川市	牧野 憲一	520	58	○	○		○	○	△				○	○
医療法人社団 旭川圭泉会病院	031144	1	北海道	旭川市	直江 寿一郎	399	7							○				
旭川リハビリテーション病院	034856	2	北海道	旭川市	進藤 順哉	298	2	○										
慶友会吉田病院	041001	1	北海道	旭川市	馬場 勝義	263	3	○										
仁恵会中野記念病院	201009	1	北海道	芦別市	紺野 雅人	212	0							○				

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○市立稚内病院	031147	1	北海道	稚内市	國枝 保幸	332	9	○			○	○	○	○	○		○	たすきがけ研修病院
市立札幌病院	030003	1	北海道	札幌市	向井 正也	672	58											○
名寄市立総合病院	030029	1	北海道	名寄市	和泉 裕一	359	29											○

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○IA北海道厚生連網走厚生病院	034851	1	北海道	網走市	中野 詩朗	345	10	○			○	○	○	○	○		○	たすきがけ研修病院
IA北海道厚生連帯広厚生病院	030027	1	北海道	帯広市	菊池 英明	651	57		○									

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○小樽市立病院	040004	1	北海道	小樽市	信野 祐一郎	388	35	○	○		○	○	○	○	○		○	たすきがけ研修病院
北海道社会事業協会小樽病院	031051	1	北海道	小樽市	柿木 滋夫	240	13						○					
小樽市保健所	033436	2	北海道	小樽市	越前谷 勇人	-	1											○
小樽市夜間急病センター	157844	2	北海道	小樽市	越前谷 勇人	-	2		○									
おたるレディースクリニック		2	北海道	小樽市	小林 寛治	11	0						○					

【北海道大学病院臨床研修修了要件】

臨床研修における到達目標

以下のA・B・C各項目についての達成度を総合的に判定する。

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

1. 社会的使命と公衆衛生への寄与
2. 利他的な態度
3. 人間性の尊重
4. 自らを高める姿勢

B. 資質・能力

1. 医学・医療における倫理性
2. 医学知識と問題対応能力
3. 診療技能と患者ケア
4. コミュニケーション能力
5. チーム医療の実践
6. 医療の質と安全管理
7. 社会における医療の実践
8. 科学的探究
9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

C. 基本的診察業務

1. 一般外来診療
2. 病棟診療
3. 初期救急対応
4. 地域医療

必修分野

1. 内科24週以上（呼吸器内科、リウマチ・腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、脳神経内科）
2. 外科4週以上（消化器外科Ⅰ、消化器外科Ⅱ、心臓血管外科、呼吸器外科、泌尿器科、乳腺外科、脳神経外科）
3. 小児科4週以上
4. 産婦人科4週以上（妊娠・出産を経験すること）
5. 精神科4週以上（精神科専門外来または精神科リエゾンチームでの研修を含むこと）
6. 救急12週以上（麻酔科4週を含んでもよい）
7. 地域医療4週以上（2年目に行う。一般外来研修と在宅医療を含むこと。病棟研修を行う場合は、慢性期・回復期病棟での研修を含めること。）
8. 一般外来4週以上（初診患者の診療及び慢性疾患の継続診療を含むこと）

必修項目

下記の必修項目を2年間で経験し、病歴要約を作成しEPOC2へ症例登録後、指導医の評価・承認を受けること。病歴要約には、「病歴、身体所見、検査所見、アセスメント、プラン（診断、治療、教育）、考察等を含む」こと。

経験すべき症候-29 症候-	経験すべき疾病・病態-26 疾病・病態-
外来または病棟において、次の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応を行う。	外来または病棟において、次の疾病・病態を有する患者の診察にあたる。
1. ショック	1. 脳血管障害
2. 体重減少・るい瘦	2. 認知症
3. 発疹	3. 急性冠症候群
4. 黄疸	4. 心不全
5. 発熱	5. 大動脈瘤
6. もの忘れ	6. 高血圧
7. 頭痛	7. 肺癌
8. めまい	8. 肺炎
9. 意識障害・失神	9. 急性上気道炎
10. けいれん発作	10. 気管支喘息
11. 視力障害	11. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）
12. 胸痛	12. 急性胃腸炎
13. 心停止	13. 胃癌
14. 呼吸困難	14. 消化性潰瘍
15. 吐血・喀血	15. 肝炎・肝硬変
16. 下血・血便	16. 胆石症
17. 嘔気・嘔吐	17. 大腸癌
18. 腹痛	18. 腎盂腎炎
19. 便通異常（下痢・便秘）	19. 尿路結石
20. 熱傷・外傷	20. 腎不全
21. 腰・背部痛	21. 高エネルギー外傷・骨折
22. 関節痛	22. 糖尿病
23. 運動麻痺・筋力低下	23. 脂質異常症
24. 排尿障害（尿失禁・排尿困難）	24. うつ病
25. 興奮・せん妄	25. 統合失調症
26. 抑うつ	26. 依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）
27. 成長・発達の障害	※26 疾病・病態のうち、少なくとも1 症例は外科手術にいたった症例とし、病歴要約には手術要約を含めること
28. 妊娠・出産	
29. 終末期の症候	

下記の必修項目を2年間で経験し、EPOC2に自己評価を入力すること。

必須	経験すべき診察法・検査・手技等	
	研修期間全体を通じて経験し、形成的評価、総括的評価の際に習得度を評価する。	
1. 医療面接	⑪ドレーン・チューブ類の管理	
2. 身体診察	⑫胃管の挿入と管理	
3. 臨床推論	⑬局所麻酔法	
4. 臨床手技	⑭創部消毒とガーゼ交換	
①気道確保	⑮簡単な切開・排膿	
②人工呼吸（バッグ・バルブ・マスクによる徒手換気を含む。）	⑯皮膚縫合	
③胸骨圧迫	⑰軽度の外傷・熱傷の処置	
④圧迫止血法	⑱気管挿管	
⑤包帯法	⑲除細動	
⑥採血法（静脈血）	5. 検査手技	
（動脈血）	①血液型判定・交差適合試験	
⑦注射法（皮内）	②動脈血ガス分析（動脈採血を含む）	
（皮下）	③心電図の記録	
（筋肉）	④超音波検査	
（点滴）	6. 地域包括ケア・社会的視点	
（静脈確保）	7. 診療録	
（中心静脈確保）	①診療録	
⑧腰椎穿刺	②退院時要約（考察を含む）	
⑨穿刺法（胸腔）	③各種診断書の作成（死亡診断書を含む）	
（腹腔）		
⑩導尿法		

下記の内容について2年間で研修すること。

必須	その他の研修	
	全研修期間を通じて、基本的な診察において必要な分野・領域等に関する研修を行う。	
1. 感染対策（院内感染や性感染症等）	院内感染対策講習会への出席など	
2. 予防医療（予防接種を含む）	法定健診（検診）、総合健診、人間ドック、予防接種など	
3. 虐待への対応	BEAMS 虐待プログラムの受講、研修医セミナーなど	
4. 社会的復帰支援	長期入院患者の社会復帰支援計画の作成、外来通院時のフォローアップ、研修医セミナーなど	
5. 緩和ケア	緩和ケア研修会、研修医セミナーなど	
6. アドバンス・ケア・プランニング	ACP 講習会、研修医セミナーなど	
7. 臨床病理検討会（CPC）	剖検の立ち合い、教育型 CPC での症例提示など	
	※レポートを作成し提出すること	

北海道大学病院における修了要件

項目	修了要件
オリエンテーション	すべての日程に出席すること
研修医セミナー	必修セミナーには必ず出席すること
特別企画セミナー	出席すること
医療安全・感染制御講演会	年2回受講すること
多職種合同研修会	年3回出席すること
センター面談	年2回面談を行うこと
医師臨床研修専門委員会	指定された回に出席すること
JAMEP (基本的臨床能力評価試験)	1年目に受験すること(希望すれば2年目に再受験も可能)
教育型CPC 発表者/レポート	2年間のうちに1回発表者となり発言・レポート提出をすること 年3回の教育型CPCに出席すること
症例レポート	内科・外科(手術症例)・小児科・産婦人科・精神科・救急分野の 症例レポートを各1症例(原本)提出すること
地域医療研修	ポートフォリオを提出すること
一般外来研修実施記録表	「一般外来研修実施記録表(厚紙)」に記入し、指導医の承認(サイン・押印)を受けること。また、同様の内容をEPOC2へ入力すること。20日分研修した際には、「実施記録表」(原本)を臨床研修センターへ提出すること。
EPOC2 評価入力 ・評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ・指導医・上級医・診療科評価 ・研修医療機関評価 ・プログラム全体評価 など	ローテーション終了時に「研修医評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」に到達目標に対する自己評価を入力し、指導医にも同様に評価を受けること。 その他の評価入力についても遅滞なく行うこと ※EPOC2の入力は、2年目の12月20日までに完了すること
研修修了発表会	1年目・2年目とも出席すること 2年目に抄録・スライドを提出し発表すること

その他の修了要件

- ・2年間の研修中の休止日数が90日以下かつ正当な理由(傷病、妊娠、出産など)であること。
※休止日数が90日を超えている場合は、超過日数分以上の追加研修を行い、上記基準に準じて個別に修了判定を行います。
- ・一般常識を逸脱する、就業規則を遵守できない、チーム医療を乱すなど、医療の適切な遂行に支障を来す場合は、修了を認められない場合があります。

北海道大学病院における臨床研修医の医療行為に関する基準

北海道大学病院

平成 16 年 5 月 10 日制定

平成 21 年 5 月 27 日一部改定

平成 22 年 7 月 21 日一部改定

基準の運用上の留意点

1. 原則として研修医が行う、あらゆる医療行為には指導医の許可が必要である
2. 救急救命時にはこの限りではないが、可及的速やかに指導医に確認または立会いを依頼する
3. 北海道大学病院としての基準を各診療科で運用する際に、患者の状態により、レベルを上げることはあり得るが、下げることはしない

研修医の医療行為に関する基準

レベル 1：研修医が単独で行ってよい医療行為

- ・ 初回実施時は指導医の立会いのもとで実施する
- ・ 困難な状況があった場合は、指導医に相談する

レベル 2：指導医の許可を得た上で、単独で行ってよい医療行為

- ・ 研修期間の経過に伴う、研修医の技能の向上の判断(熟練度の評価)は症例経験数を踏まえ、指導医が能力評価を行った上で、研修医単独での施行を認める
- ・ 許可を与えるための、症例数や技術評価の基準は特に定めない
- ・ 同じ医療行為であっても患者個々に条件が異なる。同一患者における同一医療行為であっても患者の状態は一定ではないので、毎回許可を得てから実施する

レベル 3：指導医の立ち会いを必須とする医療行為

- ・ 2 年間の研修期間において、研修医単独での施行を認めない

	処 方	注 射	診察・その他
レベル 1	定期処方の継続 臨時処方の継続	皮内注射 皮下注射 筋肉注射 静脈注射 末梢点滴	医療面接 全身の視診、打診、触診 基本的な身体診察法：泌尿・生殖器の診察、小児を除く 直腸診 耳鏡、鼻鏡、検眼鏡による診察 インスリン自己注射指導 血糖値自己測定指導 診断書の複製 診療録の作成
レベル 2	定期処方の変更 新たな処方(定期・臨時等) 高カロリー輸液処方 酸素療法の処方 経腸栄養新規処方 危険性の高い薬剤の処方 (危険性の高い薬剤としてリスト化されている処方) ・向精神薬 ・抗悪性腫瘍剤 ・心血管作動薬 ・抗不整脈薬 ・抗凝固薬 ・インスリン 麻薬処方 ：法律により、麻薬施用者免許を受けている医師以外は麻薬を処方してはいけない	輸血 危険性の高い薬剤の注射 (危険性の高い薬剤としてリスト化されている注射) ・向精神薬 ・抗悪性腫瘍剤 ・心血管作動薬 ・抗不整脈薬 ・抗凝固薬 動脈内への薬剤投与 麻薬剤注射 ：法律により、麻薬施用者免許を受けている医師以外は麻薬を処方してはいけない	紹介状の作成 診断書の作成 治療食の指示
レベル 3		関節内注射	内診 死亡診断書の作成 重要な病状説明 インフォームドコンセントの取得

	検 査	処 置
レベル1	<p>正常範囲の明確な検査の指示・判断 一般尿検査、便検査、血液型不適合試験、血液・生化学的検査、血液免疫血清学的検査、髄液検査、細菌学的検査・薬剤感受性検査など</p> <p>他部門依頼検査指示 心電図・ホルター心電図指示、単純 x 線検査指示、肺機能検査指示、脳波検査指示など</p> <p>超音波検査の実施 動脈圧測定、中心静脈圧測定 MMSE (Mini-Mental State Examination) 聴力、平衡、味覚、嗅覚、知覚検査、視野、視力検査、間接喉頭鏡 アレルギー検査(貼付)、長谷川式認知テスト</p>	静脈採血 皮膚消毒、包帯交換 外用薬貼付・塗布 気道内吸引、ネブライザー 気管カニューレ交換 局所浸潤麻酔 抜糸 ドレーン抜去 皮下の止血 包帯法
レベル2	<p>検査結果の判読・判断 心電図・ホルター心電図判読、単純 x 線検査判読、肺機能検査判読、脳波判読、超音波検査判読など</p> <p>インフォームドコンセントの必要な検査指示 CT 検査・MRI 検査・核医学検査など</p> <p>筋電図、神経伝導速度、 内分泌負荷試験、運動負荷検査</p>	動脈血採血 創傷処置、軽度の外傷・熱傷の処置 導尿、浣腸 尿カテーテル挿入と管理—新生児・未熟児は除く 胃管挿入と管理 皮下の膿瘍切開・排膿 皮膚縫合 ドレーン・チューブ類の管理 動脈ライン留置 小児の静脈採血 人工呼吸器の管理 透析の管理 静脈留置針の穿刺、留置

	検 査	処 置
レ ベ ル 3	<p>以下の侵襲的検査 負荷心電図検査 負荷心エコー検査 直腸鏡検査、肛門鏡 消化管造影、脊髓造影など</p> <p>以下の危険性の高い侵襲的な検査 胸腔・腹腔鏡検査 気管支鏡、膀胱鏡 消化管内視鏡検査・治療 経食道エコー 肝生検、筋生検・神経生検 心・血管カテーテル検査</p> <p>発達・知能・心理テストの解釈</p>	<p>以下の侵襲的処置 骨髄穿刺、胸腔穿刺、腹腔穿刺、腰椎穿刺など、髄腔内抗癌剤注入</p> <p>以下の危険性の高い侵襲的な処置・救急処置 <u>マスクとバッグによる用手的換気、エアウェイの使用(経口、経鼻)、ラリンジアルマスクの挿入、気管挿管、除細動、IABP (Intra Aortic Balloon Pumping), PCPS (Percutaneous Cardio Pulmonary Support) など</u></p> <p>中心静脈カテーテル挿入・留置 小児の動脈穿刺 針生検 脊髄麻酔 硬膜外麻酔 吸入麻酔 深部の止血 深部の膿瘍切開・排膿、深部の嚢胞切開・排膿、深部の嚢胞穿刺、深部の縫合</p>

- レベル3のうち下線の行為については、救急救命のためただちに施行が必要とされる場合には研修医が単独で実施可能
- 電子カルテの記載は、原則として48時間以内に指導医の承認が必要
- 紹介状、診断書は、患者・家族に手渡す前に指導医のダブルサインが必要

ダブルサインとは：研修医と指導医の間で交わされる行為、記事記載について事後承認扱い。研修医が入力した「診察記事」、「電子コメント」に対してのみ指導医が事後承認を行う。

(参考)

カウンターサインとは：医学生と指導医の間で交わされる行為、診察記事について事前承認扱い。

北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規

平成 23 年 3 月 10 日
制 定

(設置)

第 1 条 北海道大学病院（以下「病院」という。）に，病院の医師臨床研修における研修プログラム（以下「研修プログラム」という。）が円滑に遂行されるよう管理するため，北海道大学病院医師臨床研修管理委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(協議事項)

第 2 条 委員会は，次に掲げる事項を協議する。

- (1) 研修プログラムの管理に関すること。
- (2) 研修医の管理に関すること。
- (3) 研修医の研修状況の評価に関すること。
- (4) その他医師臨床研修の管理に関すること。

(組織)

第 3 条 委員会は，次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 病院長
 - (2) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門長
 - (3) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門副部門長
 - (4) 臨床研修センターに所属する教員
 - (5) 北海道大学病院規程第 5 条第 1 項に規定する診療科に所属する教員（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成 18 年海大達第 35 号）第 3 条第 2 号に該当する特任教員を含む。以下同じ。）及び第 6 条第 1 項に規定する中央診療施設等に所属する教員並びに北海道大学病院中央診療施設等内規第 2 条第 1 項に掲げる中央診療施設等に所属する教員のうちから病院長が指名する者
 - (6) 協力病院群を構成する関係施設の研修実施責任者
 - (7) 前号に規定する関係施設以外に所属する医師又は有識者 1 名
 - (8) 事務部長
 - (9) その他委員長が必要と認めた者
- 2 前項第 7 号及び第 9 号の委員は，病院長が指名する。
- 3 第 1 項第 5 号，第 7 号及び第 9 号の委員の任期は，1 年とし，再任を妨げない。ただし，欠員が生じた場合の補欠者の任期は，前任者の残任期間とする。
- 4 第 1 項第 5 号から第 7 号まで又は第 9 号の委員が，旅行，疾病，事故その他やむを得ない事由によって委員会に出席できないときは，代理者を出席させることができる。
- 5 前項の代理者は，第 1 項第 5 号から第 7 号まで又は第 9 号の区分ごとに選出する。

(委員長及び委員会の開催)

第4条 委員会に委員長を置き、病院長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。
- 4 委員長は、委員会を年1回以上開催するものとする。

(議事)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 委員が会議に出席できないときは、委任状の提出をもって、出席したものとみなす。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(臨時会)

第7条 第2条の協議事項のうち緊急な対応が必要となった場合、臨時の委員会（以下「臨時会」という。）を開くことができる。

- 2 臨時会は次に掲げる者をもって組織する。
 - (1) 第3条第1号から第4号まで及び第8号に規定する者
 - (2) その他委員長が必要と認めた者
- 3 委員長は、審議終了後速やかに、委員会に報告を行うものとする。

(専門委員会)

第8条 委員会に、専門的事項を審議するため、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

- 2 専門委員会の委員長及び委員は、委員長が指名する。
- 3 専門委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、総務課において処理する。

(雑則)

第10条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成24年11月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 29 年 11 月 9 日から施行し、平成 29 年 10 月 1 日から適用する。

北海道大学病院医師臨床研修専門委員会要項

平成 23 年 3 月 31 日
制 定

(趣旨)

第 1 条 この要項は、北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規(平成 23 年 3 月 10 日制定)第 7 条第 3 項の規定に基づき、北海道大学病院医師臨床研修専門委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 研修プログラムの管理に関する専門的な事項
- (2) 研修医の管理に関する専門的な事項
- (3) 研修医の研修状況の評価に関する専門的な事項
- (4) 研修医の募集及び採用試験に関する専門的な事項
- (5) その他医師臨床研修に関する専門的な事項

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門長
- (2) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門副部門長
- (3) 臨床研修センターに所属する教員
- (4) 北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規第 3 条第 1 項第 5 号に規定する者
- (5) 医療安全管理部長が指名する者 1 名
- (6) その他委員長が必要と認めた者

2 前項第 6 号の委員は、臨床研修センター長が指名する。

3 第 1 項第 5 号及び第 6 号の委員の任期は、1 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 第 1 項第 4 号又は第 6 号の委員が、旅行、疾病、事故その他やむを得ない事由によって委員会に出席できないときは、代理者を出席させることができる。

5 前項の代理者は、第 1 項第 4 号又は第 6 号の区分ごとに選出する。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

(議事)

第 5 条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、総務課において処理する。

(雑則)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成23年10月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成29年11月15日から実施し、平成29年10月1日から適用する。

北海道大学病院臨床研修センター内規

平成17年4月7日
制 定

(趣旨)

第1条 この内規は、北海道大学病院規程（平成15年海大達第48号）第19条の規定に基づき、北海道大学病院臨床研修センター（以下「センター」という。）の組織及び業務について定めるものとする。

(組織)

第2条 センターに、次に掲げる職員を置く。

(1) センター長

(2) その他必要な職員 若干名

2 センターに、医科臨床研修部門、歯科臨床研修部門及び専門研修部門（以下「各部門」という。）を置く。

3 センター長は、病院長の命を受け、前項の各部門の業務を総括する。

4 センター長は、病院長が指名する。

(業務)

第3条 医科臨床研修部門及び歯科臨床研修部門は、次に掲げる業務を行う。

(1) 研修医の募集に関すること。

(2) 研修医の受入れ及び研修コースの振り分けに関すること。

(3) 研修プログラムの立案に関すること。

(4) 研修の実施依頼に関すること。

(5) 研修の評価のとりまとめに関すること。

(6) 各診療科及び研修関連病院との連絡調整に関すること。

(7) その他臨床研修に係る業務に関すること。

2 前項に掲げる業務のうち、医科臨床研修部門においては、研修医（医科）に関する業務をつかさどる。

3 第1項に掲げる業務のうち、歯科臨床研修部門においては、研修医（歯科）に関する業務をつかさどる。

4 専門研修部門は、次に掲げる業務を行う。

(1) 専攻医の募集に関すること。

(2) 専攻医の受入れに関すること。

(3) 専門研修プログラムに関すること。

(4) 医師の生涯教育に関すること。

(5) その他専門研修に係る業務に関すること。

(医科臨床研修部門)

第4条 第2条第2項の医科臨床研修部門に部門長を置き、病院長が指名する医学研究院の教授をもって充てる。

- 2 前項の部門長は、センター長の命を受け、医科臨床研修部門の業務を統括する。
- 3 医科臨床研修部門に副部門長を置き、部門長が指名する。
- 4 前項の副部門長は、第1項の部門長を助ける。
- 5 医科臨床研修部門に部門長が必要と認めた職員を置くことができる。

(歯科臨床研修部門)

第5条 第2条第2項の歯科臨床研修部門に部門長を置き、病院長が指名する歯学研究院の教授をもって充てる。

- 2 前項の部門長は、センター長の命を受け、歯科臨床研修部門の業務を統括する。
- 3 歯科臨床研修部門に副部門長を置き、部門長が指名する。
- 4 前項の副部門長は、第1項の部門長を助ける。
- 5 歯科臨床研修部門に部門長が必要と認めた職員を置くことができる。

(専門研修部門)

第6条 第2条第2項の専門研修部門に部門長を置き、病院長が指名する医学研究院の教授をもって充てる。

- 2 前項の部門長は、センター長の命を受け、専門研修部門の業務を統括する。
- 3 専門研修部門に副部門長を置き、部門長が指名する。
- 4 前項の副部門長は、第1項の部門長を助ける。
- 5 専門研修部門に部門長が必要と認めた職員を置くことができる。

(雑則)

第7条 この内規に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

- 1 この内規は、平成17年4月7日から施行し、平成17年4月1日から適用する。
- 2 北海道大学病院卒後臨床研修センター内規（平成15年9月17日制定）は、廃止する。

附 則

この内規は、平成17年6月23日から施行し、平成17年6月2日から適用する。

附 則

この内規は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

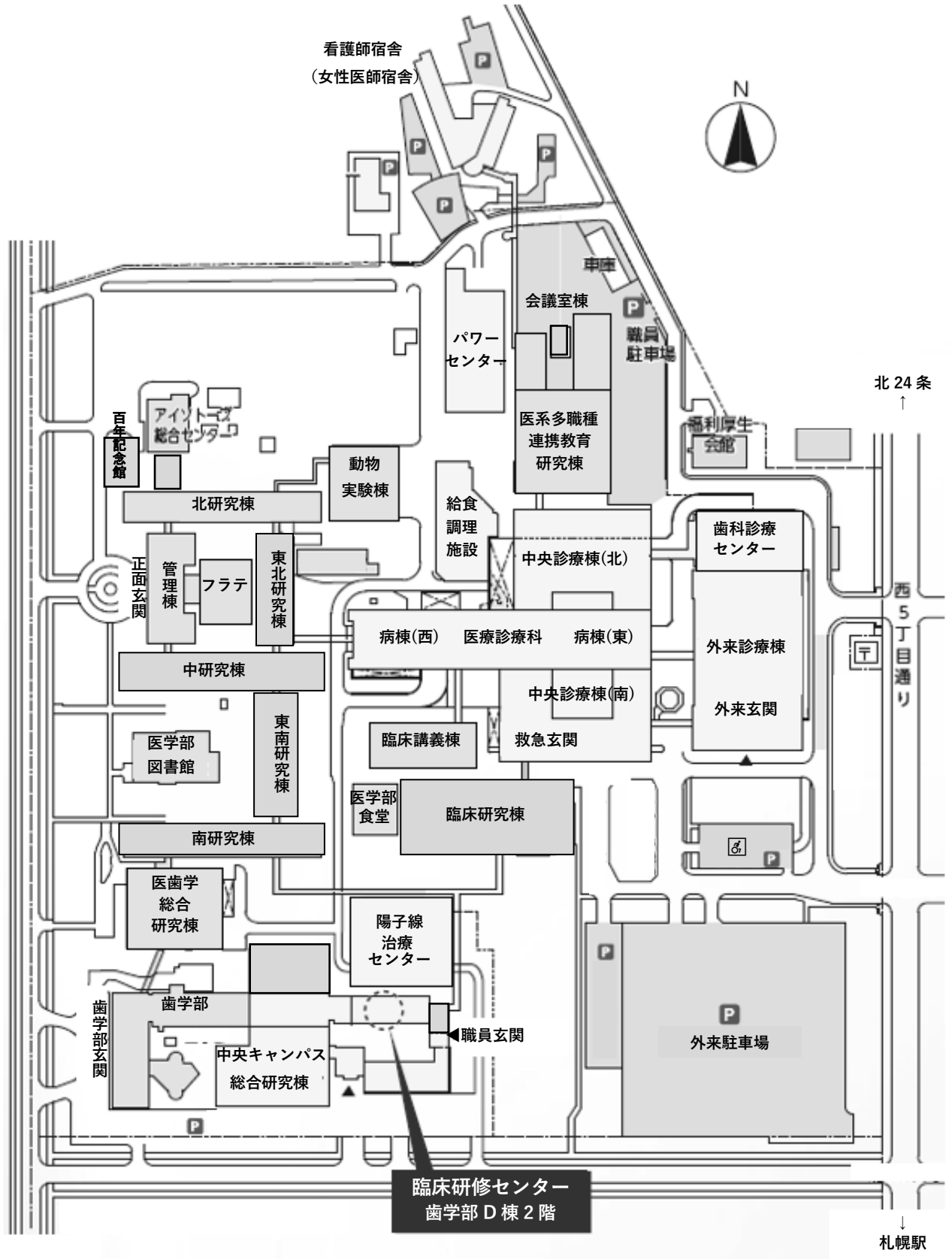
附 則

この内規は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

北海道大学病院臨床研修センター配置図



(連絡先) 北海道大学病院臨床研修センター (事務室)
 住所 : 〒060-8648 札幌市北区北 14 条西 5 丁目
 TEL : 011-706-7045・7050 FAX : 011-706-7051
 メールアドレス : sotsugo@med.hokudai.ac.jp